

作成年月日	令和3年7月26日
作成部局課室名	企画県民部 政策調整課

「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」の令和2年度取組状況

人口減少、少子高齢化が進む中でも、活力を持続発展させることのできる「ふるさと兵庫」づくりに向け、平成29年度から5年間の県政の重点施策の目標と工程を示した「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」(H29年12月策定。R2年8月改定)の令和2年度の取組状況を取りまとめました。

1 評価の対象及び評価方法

(1) 評価の対象

令和2年度までに数値目標を設定した451の施策・事業、指標(以下「事業等」)

【政策・目標区分ごとの事業等の数】

政策	区分	数値目標	その他の目標	計
政策1	行財政構造改革の総仕上げ	0	3	3
政策2	新たな将来展望の提示と具体化	0	11	11
政策3	地域創生の本格化	242	36	278
政策4	地域創生の基盤づくり	152	54	206
政策5	次代を担う人づくり	40	7	47
政策6	地域自立の推進	17	17	34
計		451	128	579

その他の目標：施設整備、計画策定や計画達成等の目標(128事業等)

(例：兵庫県行財政運営方針に掲げる収支均衡などの財政指標の達成に向けた取組を推進)

(2) 評価方法

達成状況を4段階(、、、)で評価

(:目標を超えて達成(達成率100%超) :目標を概ね達成(90%~100%))
(:目標をやや下回る(70%~90%未満) :目標を下回る(70%未満))

2 目標の見直し

次の視点により、一部の事業等の目標数値等の見直しを行った
予算や計画改定等を踏まえた目標や目標数値、工程の変更
施設整備の完了などに伴う整備目標から数値目標への変更

3 取組状況(総括)

(1) 数値目標

目標を超えて達成(100%超)、目標を概ね達成(90%~100%)した事業等は、全体の65.3%(昨年度:77.1%)。

なお、新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の影響によって目標を達成できなかったもの(62事業等(昨年度:8事業等))を除くと78.9%(昨年度:78.8%)。

現時点でデータを把握できている360事業等のうち、235事業等

(2) 施設整備や計画策定等の目標

施設整備や計画策定等の目標を定めたもの(128事業等)は、概ね計画どおり進捗

4 取組状況（対策別）

(1) 数値目標

【対策ごとの達成状況】 政策1,2は数値目標の設定なし

：目標を超えて達成（達成率100%超） ；目標を概ね達成（90%～100%）

：目標をやや下回る（70%～90%未満） ；目標を下回る（70%未満）

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
政策3：地域創生の本格化	68	52	22	52	194	61.9%	48	242	74.4%
3-1 地域創生戦略加速化対策	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3-1-1 地域創生戦略加速化プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3-2 子育て環境充実対策	8	8	3	4	23	69.6%	2	25	66.7%
3-2-1 結婚・出産支援プログラム	2	4	1	3	10	60.0%	0	10	44.4%
3-2-2 待機児童解消プログラム	3	1	2	1	7	57.1%	1	8	66.7%
3-2-3 子どもの見守りプログラム	1	3	0	0	4	100.0%	0	4	100.0%
3-2-4 育児の不安解消プログラム	2	0	0	0	2	100.0%	1	3	100.0%
3-3 健康長寿社会づくり対策	7	10	2	5	24	70.8%	6	30	73.9%
3-3-1 介護体制整備プログラム	1	1	1	2	5	40.0%	1	6	60.0%
3-3-2 認知症支援プログラム	0	4	1	1	6	66.7%	0	6	83.3%
3-3-3 健康づくり応援プログラム	3	4	0	1	8	87.5%	5	13	75.0%
3-3-4 心の健康づくりプログラム	3	1	0	1	5	80.0%	0	5	75.0%
3-4 移住・定住対策	7	3	1	4	15	66.7%	2	17	69.2%
3-4-1 UJIターン促進プログラム	4	0	1	3	8	50.0%	2	10	62.5%
3-4-2 県内就職支援プログラム	3	3	0	1	7	85.7%	0	7	80.0%
3-5 産業力強化対策	13	4	3	7	27	63.0%	1	28	73.1%
3-5-1 企業立地促進プログラム	1	2	1	1	5	60.0%	0	5	80.0%
3-5-2 起業・創業応援プログラム	4	0	2	1	7	57.1%	0	7	83.3%
3-5-3 次世代産業集積プログラム	5	2	0	3	10	70.0%	1	11	70.0%
3-5-4 新事業創出支援プログラム	3	0	0	2	5	60.0%	0	5	60.0%
3-6 農林水産業対策	9	7	1	4	21	76.2%	10	31	81.8%
3-6-1 農業の基幹産業化プログラム	2	2	1	2	7	57.1%	6	13	62.5%
3-6-2 森林資源活用プログラム	2	2	0	1	5	80.0%	3	8	80.0%
3-6-3 漁業資源増殖プログラム	5	3	0	1	9	88.9%	1	10	100.0%
3-7 兵庫ブランド育成対策	6	6	0	1	13	92.3%	1	14	100.0%
3-7-1 県産品ブランド力向上プログラム	3	5	0	0	8	100.0%	1	9	100.0%
3-7-2 海外展開応援プログラム	3	1	0	1	5	80.0%	0	5	100.0%
3-8 人材確保対策	3	3	4	2	12	50.0%	11	23	64.3%
3-8-1 職業能力開発プログラム	2	1	3	0	6	50.0%	1	7	83.3%
3-8-2 介護・看護人材確保プログラム	0	1	1	2	4	25.0%	6	10	50.0%
3-8-3 農林水産業人材確保プログラム	1	1	0	0	2	100.0%	4	6	50.0%
3-9 働き方改革対策	1	4	1	7	13	38.5%	1	14	20.0%
3-9-1 女性・シニア活躍応援プログラム	0	1	0	5	6	16.7%	1	7	0.0%
3-9-2 ワーク・ライフ・バランスプログラム	1	3	1	2	7	57.1%	0	7	40.0%
3-10 市街地再生対策	3	3	4	5	15	40.0%	1	16	66.7%
3-10-1 中心市街地・商店街再生プログラム	1	1	2	3	7	28.6%	1	8	85.7%
3-10-2 空き家活用プログラム	2	2	2	2	8	50.0%	0	8	50.0%
3-11 交流促進対策	11	4	3	13	31	48.4%	13	44	89.5%
3-11-1 感動体験ツーリズム展開プログラム	0	2	0	1	3	66.7%	5	8	75.0%
3-11-2 訪日外国人受入環境整備プログラム	0	0	0	2	2	0.0%	3	5	50.0%
3-11-3 多自然地域再生プログラム	5	1	0	2	8	75.0%	0	8	87.5%
3-11-4 新しい魅力づくりプログラム	4	0	2	5	11	36.4%	3	14	100.0%
3-11-5 国際交流拡大プログラム	2	0	0	3	5	40.0%	2	7	100.0%
3-11-6 ワールドマスターズゲームズ2021関西プログラム	0	1	1	0	2	50.0%	0	2	100.0%

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
政策4：地域創生の基盤づくり	45	40	16	19	120	70.8%	32	152	78.2%
4-1 地震・津波対策	3	5	2	1	11	72.7%	3	14	75.0%
4-1-1 防災・減災基盤整備プログラム	0	3	0	0	3	100.0%	0	3	100.0%
4-1-2 耐震化促進プログラム	3	2	2	1	8	62.5%	3	11	66.7%
4-2 風水害対策	6	9	2	1	18	83.3%	2	20	78.6%
4-2-1 山崩れ・土石流防止プログラム	2	2	0	0	4	100.0%	1	5	100.0%
4-2-2 森林管理プログラム	4	0	0	1	5	80.0%	1	6	80.0%
4-2-3 治水対策プログラム	0	7	2	0	9	77.8%	0	9	60.0%
4-3 防災力向上対策	4	4	1	5	14	57.1%	3	17	85.7%
4-3-1 避難体制整備プログラム	3	1	1	1	6	66.7%	2	8	83.3%
4-3-2 防災人材育成プログラム	1	3	0	4	8	50.0%	1	9	87.5%
4-4 暮らしの安全安心対策	12	7	4	3	26	73.1%	4	30	68.0%
4-4-1 地域医療体制整備プログラム	3	1	1	0	5	80.0%	4	9	80.0%
4-4-2 県立病院充実プログラム	0	1	0	0	1	100.0%	0	1	0.0%
4-4-3 障害者安心確保プログラム	1	1	0	3	5	40.0%	0	5	0.0%
4-4-4 身近な異変への対応力向上プログラム	5	4	0	0	9	100.0%	0	9	88.9%
4-4-5 交通安全プログラム	3	0	3	0	6	50.0%	0	6	83.3%
4-5 自然共生・環境対策	4	4	3	2	13	61.5%	14	27	81.3%
4-5-1 温室効果ガス削減プログラム	1	1	0	0	2	100.0%	3	5	50.0%
4-5-2 エネルギー活用プログラム	1	0	0	1	2	50.0%	1	3	50.0%
4-5-3 資源循環プログラム	0	0	1	0	1	0.0%	4	5	-
4-5-4 動物共生プログラム	2	2	0	1	5	80.0%	6	11	88.9%
4-5-5 郷土の森づくりプログラム	0	0	2	0	2	0.0%	0	2	100.0%
4-5-6 環境体験推進プログラム	0	1	0	0	1	100.0%	0	1	100.0%
4-6 ユニバーサル社会づくり対策	14	7	2	6	29	72.4%	4	33	78.6%
4-6-1 障害者自立支援プログラム	9	1	1	2	13	76.9%	2	15	84.6%
4-6-2 バリアフリー環境整備プログラム	2	2	1	2	7	57.1%	0	7	71.4%
4-6-3 困窮者支援・差別解消プログラム	1	1	0	2	4	50.0%	1	5	50.0%
4-6-4 多文化共生社会推進プログラム	2	3	0	0	5	100.0%	1	6	100.0%
4-7 交流・生活基盤対策	2	4	2	1	9	66.7%	2	11	90.0%
4-7-1 高速道路網整備プログラム	0	2	0	0	2	100.0%	0	2	100.0%
4-7-2 空港・港湾整備プログラム	0	0	1	1	2	0.0%	1	3	100.0%
4-7-3 交通・生活基盤整備プログラム	2	2	1	0	5	80.0%	1	6	83.3%
政策5：次代を担う人づくり	6	14	3	8	31	64.5%	9	40	80.6%
5-1 次世代人材育成対策	4	13	3	4	24	70.8%	4	28	84.0%
5-1-1 教育力強化・学習支援プログラム	2	9	1	1	13	84.6%	4	17	84.6%
5-1-2 高等教育特色化プログラム	1	0	1	3	5	20.0%	0	5	60.0%
5-1-3 教育環境整備プログラム	1	4	1	0	6	83.3%	0	6	100.0%
5-2 文化・スポーツ対策	2	1	0	4	7	42.9%	5	12	72.7%
5-2-1 芸術文化振興プログラム	1	1	0	4	6	33.3%	1	7	66.7%
5-2-2 スポーツ振興プログラム	1	0	0	0	1	100.0%	3	4	75.0%
5-2-3 障害者スポーツ振興プログラム	0	0	0	0	0	-	1	1	100.0%
政策6：地域自立の推進	5	5	3	2	15	66.7%	2	17	94.1%
6-1 愛着の持てるふるさとづくり対策	5	5	3	2	15	66.7%	2	17	94.1%
6-1-1 地域活動支援プログラム	1	2	1	1	5	60.0%	0	5	100.0%
6-1-2 ふるさと意識向上プログラム	4	2	1	1	8	75.0%	2	10	90.0%
6-1-3 情報発信力強化プログラム	0	1	1	0	2	50.0%	0	2	100.0%
6-1-4 公共施設有効活用プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-2 地方分権対策	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-2-1 地方分権推進プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-2-2 関西活性化プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	124	111	44	81	360	65.3% (78.9%)	91	451	77.1%
(参考)令和元年度実績	153	130	35	49	367	77.1% (78.8%)	65	432	

その他：データが未判明のもの、調査が中止となったもの等
 ()内の数値は、新型コロナの影響を除いたもの

〔参考〕取組状況の年度推移

これまでの取組状況を年度ごとに比較したところ、目標を超えて達成(100%超)、目標を概ね達成(90%~100%)した事業等の全体に占める割合は、新型コロナウイルスの影響を除くと、概ね8割程度で推移している。

	H29	H30	R1	R2
	125	131	153	124
	104	124	130	111
	22	27	35	44
	43	30	49	81
計	294	312	367	360
、の割合	77.9%	81.7%	77.1% (78.8%)	65.3% (78.9%)

()内の数値は、新型コロナウイルスの影響を除いたもの

5 目標を下回った主な事業等

待機児童数 3-2-2(1) プログラム P.9

〔R2 目標 (R3.4.1): 0人 R2 実績 (R3.4.1): 769人 (対前年比 759)〕

【理由】保育所等の定員は拡大したが、女性の就労意欲の高まり、幼児教育・保育の無償化、保育施策充実に伴う保育需要の喚起等もあり、待機児童数は前年に比べ半減したものの、目標に達しなかった。

【対応】引き続き市町や関係者と協議を重ねながら、都市部での小規模保育の展開など地域のニーズに合わせ、保育所等の定員拡大や保育人材の確保に努める。

ひょうごケア・アシスタント事業就業者数 3-8-2(1) プログラム P.50

〔R2 目標: 600人 R2 実績: 202人 達成率: 33.7% (累計)〕

【理由】ニーズにあわせて対象業務を追加したものの、事業の周知が十分でないことに加え、新型コロナウイルスの影響もあり、ケア・アシスタントの受入施設・事業所及び就業者数が大幅に減少した。

【対応】施設周辺での広報や関係団体を通じた広報を強化する。また、今年度、研修期間中の経費支援に交通費を追加し、制度を充実させた。こうした支援により就業者の確保を図る。

中小企業育児・介護代替要員確保支援助成件数 3-9-1(2) プログラム P.55

〔R2 目標: 200件 R2 実績: 83件 達成率: 41.5%〕

【理由】新型コロナウイルスの影響により年度当初の保育所の受け入れが遅れ、職場復帰を遅らせるケースが多くみられた。そのまま復帰せずに退職に至ることもあったことなどにより、前年度より実績が減少した。

【対応】企業の個別訪問により中小企業等における育児・介護休業や短時間勤務制度の活用を促進するほか、情報誌、セミナー等でのPR、求人募集している企業へのダイレクトメール等により、積極的な事業の周知に努める。

インスペクションを活用した中古住宅流通件数 3-10-2(1) プログラム P.60
〔R2 目標：200 件 R2 実績：39 件 達成率：19.5%〕

【理由】インスペクションの認知度が低く、また、改正宅建業法の施行により、媒介契約締結時におけるインスペクションの斡旋可否の告知等が義務付けられたが、依然として斡旋に消極的な宅建業者が多い。さらに、新型コロナの影響により、イベント等での県民向け PR 活動が実施できなかった。

【対応】今年度から、事業者に加え一般県民を中心に補助制度やインスペクションの効果・メリットの周知を図ることで、制度の一層の活用を推進する。

兵庫県住宅再建共済制度加入率 4-1-2(4) プログラム P.80
〔R2 目標：15.0% R2 実績：9.6% 達成率：64.0%〕

【理由】制度の認知度の低さや都市部での加入率の低迷、脱退者の発生による。

【対応】市町等との連携強化による広報推進、加入強化月間での集中的な広報・加入促進活動、フェニックスサポーター制度の推進、マスメディアの活用やターゲットを絞った広報活動等により、加入率の増加に努める。

森林環境譲与税を活用した非経済林での間伐面積 4-2-2(1) プログラム P.83
〔R2 目標：1,200ha R2 実績：553ha(対前年度比+181) 達成率：46.1%〕

【理由】令和元年度に森林環境譲与税が創設され、市町が順次、森林所有者の意向確認を進めているところであり、本格的な間伐の実施には至っていない。そのため、昨年度より実績が 1.5 倍程度伸びたものの、目標には届かなかった。

【対応】ひょうご森づくりサポートセンターによる市町への技術的な助言や技術者派遣に加え、ひょうご農林機構が間伐等の森林整備にかかる設計・発注・監督業務を受託できる体制を整え、市町による非経済林の間伐の加速化を支援する。

6 新型コロナの影響を大きく受けた主な事業等

ものづくり大学校等での在職者訓練実施人数	3-8-1(1) プログラム P.48
空き店舗出店によるしごと創出人数	3-10-1(1) プログラム P.58
県内宿泊客数	3-11-1(3) プログラム P.63
農山漁村と都市部の交流活動支援数	3-11-3 プログラム P.65
HUMAP による留学支援者数	3-11-5(2) プログラム P.72
ひょうご安全の日推進事業の助成件数	4-3-2(2) プログラム P.92
障害者職業能力開発支援事業委託訓練受講者数	4-6-1(1) プログラム P.116
但馬空港旅客数	4-7-2(1) プログラム P.130
舞台芸術(音楽、演劇)のアウトリーチ活動の実施回数	5-2-1(1) プログラム P.142
県民ボランティア活動助成件数	6-1-1(2) プログラム P.146

7 令和2年度に完了した主な事業等

特別養護老人ホーム「万寿の家」の移転再整備	3-3-1(1) プログラム P.14
ひょうご神戸スタートアップファンドの創設	3-5-4(2) プログラム P.36
芸術文化観光専門職大学の開学(R3.4.1)	3-8-1(1) プログラム P.48
兵庫楽農生活センターのリニューアル(機能充実)	3-9-2(2) プログラム P.57
北近畿豊岡自動車道 日高豊岡南道路供用開始	4-7-1(1) プログラム P.127

「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」の令和2年度取組状況

取組状況の個別評価

プログラムごとの数値目標の達成状況の他、事業等の取組状況、個別評価（目標を超えて達成した事業等、目標を下回った事業等の理由・今後の対応）を取りまとめました。

（注記）

〔数値目標を設定した事業〕

表の4段階（ 、 、 、 ）の区分は次のとおり

：目標を超えて達成（達成率 100%超）

：目標を概ね達成（90%～100%）

：目標をやや下回る（70%～90%未満）

：目標を下回る（70%未満）

その他：データが把握できていないものやR3年度以降の開始を予定しているもの等

〔施設整備や計画策定等の目標を設定した事業〕

・概ね、計画どおりの進捗となっている（目標達成したものに ）

政策 1 行財政構造改革の総仕上げ

1 - 1 行財政改革対策

【プログラムの達成状況】

(1) 施設整備や計画策定等の目標: 2 事業 [完了済: 2 事業]

(主な施策・事業、指標の実施状況)

最終 2 カ年行財政構造改革推進方策により、収支均衡など 8 つの財政目標の 2018 年度までの達成に向けた取組を推進

1-1-1 プログラム P.1

1 - 2 行財政運営推進対策

【プログラムの達成状況】

(1) 施設整備や計画策定等の目標: 1 事業

(主な施策・事業、指標の実施状況)

兵庫県行財政運営方針に掲げる収支均衡などの財政指標の達成に向けた取組を推進

1-2-1 プログラム P.2

【参考】財政指標の目標

(単位: 億円)

区分	目標年次	目標	R3 当初	R5	R10	
1 要調整額(収支不足額)	毎年度	収支均衡	0	40	0	
2 県債依存度(県債発行額/一般財源) [臨時財政対策債除き]	毎年度	毎年度の地財計画の一般財源総額に対する地方債[臨時財債除き]の割合以下 R3: 8.9%	8.4% (0.0%)	9.6% (0.2%)	5.7% (0.1%)	
	毎年度	国の特例債(強靱化債・緊急自然災害防止対策事業債)除き R3: 8.1%	6.8% (0.0%)	6.4% (0.2%)	5.7% (0.1%)	
3 (普)実質公債費比率(単年度)	毎年度	18%未満 (地方債協議制度同意基準)	15.7% (0.0%)	17.4% (0.0%)	18.1% (0.2%)	
	毎年度	3 か年平均	15.3%	16.6%	17.9%	
4 (普)公債費負担比率(公債費/一般財源) [震災関連県債除き]	毎年度	毎年度の地財計画の一般財源総額に対する公債費の割合以下 R3: 18.4%	18.4% (0.0%)	18.9% (0.0%)	19.2% (0.1%)	
5 県債管理基金活用額	毎年度	財源対策としては、原則、活用しない	0	0	0	
6 経常収支比率	R10 年度	-	97.0% (0.0%)	96.7% (0.0%)	95.9% (0.1%)	
		うち人件費	30%程度	33.7%	32.9%	31.2%
		うち公債費	25%程度	25.5% (0.0%)	25.6% (0.0%)	25.9% (0.1%)
		うち社会保障関係費等	40%程度	37.8%	38.2%	38.8%
7 県債残高比率(県債残高/標財規模) [臨時財政対策債除き]	R10 年度	150%程度	250.3%	228.3%	169.6%	
	[中間目標] R5 年度	H28 年度の全国平均(200%)程度	(0.0%)	(0.3%)	(1.9%)	
8 県債残高 臨時財政対策債、減収補填債 75%分、 補正予算債除き [H30 比]	R10 年度	H30 年度の 70%程度	24,220 [91.2%] (0.0%)	22,611 [85.2%] (0.1%)	17,697 [66.7%] (0.8%)	
9 (普)将来負担比率	R10 年度	280%程度 H30 決算(339.2%)を行革期間中の縮減(22.5%)の2倍となる 50%程度縮減することで早期健全化基準(400%)の 70%程度に縮減	349.0% (0.6%)	340.1% (0.6%)	303.3% (2.9%)	
10 (普)県債管理基金積立不足率 [借換債縮減影響除き]	R10 年度	15%程度	20.7% (0.4%)	21.6% (0.7%)	21.0% (1.0%)	

県庁舎等建替の影響を()内書きで記載

政策 2 : 新たな将来展望の提示と具体化

2 - 1 兵庫の未来展望対策

【プログラムの達成状況】

(1) 施設整備や計画策定等の目標: 11事業〔完了済: 5事業〕

(主な施策・事業、指標の実施状況)

兵庫 2030 年の展望の策定	2-1-2	プログラム P.3
新長期ビジョンの策定(令和3年度末策定)	2-1-3	プログラム P.3
県政 150 周年記念事業の展開	2-1-4	プログラム P.3
初代兵庫県庁舎の復元(令和3年秋開館)	2-1-5	プログラム P.5
神戸ビーフ館の暫定施設の整備、運営	2-1-5	プログラム P.5 (3-7-1 プログラム P.46)

政策 3 : 地域創生の本格化

3 - 1 地域創生戦略加速化対策

【プログラムの達成状況】

(1) 施設整備や計画策定等の目標: 1事業〔完了済: 1事業〕

(主な施策・事業、指標の実施状況)

地域創生を加速化する地域創生戦略の推進	3-1-1	プログラム P.6
---------------------	-------	-----------

3 - 2 子育て環境充実対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	、 割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) 、 割合
3-2 子育て環境充実対策	8	8	3	4	23	69.6%	2	25	66.7%
3-2-1 結婚・出産支援プログラム	2	4	1	3	10	60.0%	0	10	44.4%
3-2-2 待機児童解消プログラム	3	1	2	1	7	57.1%	1	8	66.7%
3-2-3 子どもの見守りプログラム	1	3	0	0	4	100.0%	0	4	100.0%
3-2-4 育児の不安解消プログラム	2	0	0	0	2	100.0%	1	3	100.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標		(目標)	(実績)
結婚支援システムの会員利用件数	3-2-1(1)	15,349件	464,076件
出生数	3-2-1(3)	36,000人	37,653人
保育所等定員の増加数	3-2-2(1)	14,000人	17,450人
認定こども園数	3-2-2(1)	545園	579園
幼児教育・保育に係る施設利用者の割合	3-2-2(4)	77.3%	83.8%
子どもの冒険ひろば数	3-2-3(1)	650箇所	659箇所
里親登録数	3-2-4(2)	17世帯	48世帯
特別養子縁組成立数	3-2-4(2)	8組	13組

(目標を下回った主な事業等)

出会いイベント開催回数 3-2-1(1) プログラム P.6
 [R2 目標：270回 R2 実績：85回 達成率：31.5%]

【理由】

- ・ イベント実施回数の大部分を占めるあいサポ応援団（ホテル・レストラン等）の数が横ばい傾向にあるため、実績が伸び悩んでいる。
- ・ そうした中、新型コロナの影響や緊急事態宣言の発出に伴い、イベントの多くが中止、延期となった。

【今後の対応】

- ・ 企業訪問により、会員の増強やあいサポ応援団の拡大を図るとともに、民間企業等と連携した出会いイベントの開催によって出会いの場を拡大することで、成婚数の増加につながるよう取り組む。

ひょうご出会い・結婚支援事業による成婚数 3-2-1(1) プログラム P.6
 [R2 目標：200組 R2 実績：127組 達成率：63.5%]

【理由】

- ・ 近年、未婚化の進展により全国的に婚姻数が減少傾向にある。
- ・ 新型コロナの拡大に伴い、出会いサポートセンターの新規会員登録を一時停止(4~6月)したこと等から会員数が減少したことや、出会いイベントの多くが中止となったことから、成婚数が伸び悩んだ。

【今後の対応】

- ・ 職員の企業訪問によるPR活動、民間企業等と連携したPR動画や婚活レッスン動画の作成、出会いイベントの開催の他、スマホでの閲覧を可能にしたことで利用数が大幅に伸びたスマホ婚活システムを活用し、出会いの拡大に努め、成婚数の拡大を目指す。

特定不妊治療費助成件数 3-2-1(4) プログラム P.8
〔R2 目標：2,700 件 R2 実績：2,333 件（対前年度比+20） 達成率：86.4%〕

【理由】

- ・20～30代女性の減少や未婚化の進展に伴い婚姻数が減少する中、前年度実績を上回ったものの、目標には届かなかった。

【今後の対応】

- ・今年度から所得制限を撤廃したほか、事実婚も対象者に追加する等、県民が利用しやすくなるよう制度の拡充を実施した。
- ・また、早期に不妊の原因を発見し、効果的な治療につなげるため、不妊治療ペア検査助成事業を開始した。これらの事業の周知に努めるとともに、夫の関わりを促すための啓発活動も実施する。

風しん抗体検査受検者数 3-2-1(5) プログラム P.8
〔R2 目標：4,700 人 R2 実績：1,239 人 達成率：26.4%〕

【理由】

- ・新型コロナの影響により医療機関の受診控えがあった。
- ・令和2年7月に事業を開始したところであり、受検者や医療機関への周知が不十分であったことも原因と考えられる。

【今後の対応】

- ・各市町にホームページ等での広報協力を依頼するなどにより、先天性風しん症候群や本事業について周知を図り、受検者数の向上に努める。

待機児童数 3-2-2(1) プログラム P.9
〔R2 目標（R3.4.1）：0 人 R2 実績（R3.4.1）：769 人（対前年比 759）〕

【理由】

- ・保育所等の定員は拡大したものの、女性の就労意欲の高まりに加え、幼児教育・保育の無償化導入の影響や、保育所整備等の保育施策の充実に伴う保育需要の喚起等もあり、待機児童数は前年に比べて半減したものの、目標に達しなかった。

【今後の対応】

- ・待機児童ゼロを目指し、市町や関係者と協議を重ねながら、都市部での小規模保育の展開など地域のニーズに合わせ、保育所等の定員拡大や保育人材の確保に努める。

病児・病後児保育施設数 3-2-2(2) プログラム P.10
〔R2 目標：141 施設 R2 実績：120 施設 達成率：85.1%（累計）〕

【理由】

- ・利用児童数の著しい季節変動や低稼働率、看護師・保育士等の経費負担等、採算上の問題を抱えている。また、新型コロナの影響により、開設をとりやめた施設もあった。

【今後の対応】

- ・県・市町子ども・子育て支援協働会議や市町ヒアリング等の実施により、補助事業の紹介や国庫補助の活用、運営の助言等について市町へ働きかける。

(2) 施設整備や計画策定等の目標：2 事業

（主な事業等の実施状況）

私立高等学校等授業料軽減補助の拡充 3-2-4(1) プログラム P.12

〔R2 拡充内容〕・年収 590 万円未満世帯：国就学支援金と合わせて計年 408 千円

・年収 590 万円以上 730 万円未満世帯：同 218.8 千円

・年収 730 万円以上 910 万円未満世帯：同 168.8 千円

3-3 健康長寿社会づくり対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
3-3 健康長寿社会づくり対策	7	10	2	5	24	70.8%	6	30	73.9%
3-3-1 介護体制整備プログラム	1	1	1	2	5	40.0%	1	6	60.0%
3-3-2 認知症支援プログラム	0	4	1	1	6	66.7%	0	6	83.3%
3-3-3 健康づくり応援プログラム	3	4	0	1	8	87.5%	5	13	75.0%
3-3-4 心の健康づくりプログラム	3	1	0	1	5	80.0%	0	5	75.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
特定施設入居者生活介護の指定を受けたサ高住戸数	3-3-1(1) 2,600戸	2,677戸
健康づくりチャレンジ企業数	3-3-3(1) 100社	185社
健康づくりの場の整備に対する支援件数	3-3-3(1) 10件	22件
オーラルフレイルや口腔ケア研修の実施回数	3-3-3(4) 15回	25回
「いのちとこころのサポーター」推進リーダー養成数	3-3-4(1) 35人	153人
メンタルヘルスのカウンセラー派遣事業所数	3-3-4(1) 140社	142社
ひきこもり状態にある者の居場所を設置した市町数	3-3-4(3) 10市町	12市町

(目標を下回った主な事業等)

特別養護老人ホーム等入所待機者数 3-3-1(1) プログラム P.14
〔R2 目標：600人 R2 実績：3,039人〕

【理由】

- ・特別養護老人ホームの床数は増加(+952床)したものの、高齢者人口の増加に伴う入所希望者の増により、待機者数は目標に到達しなかった。
- ・また、在宅での生活が可能のため、直ちの入所を希望しない待機者が一定数存在することも結果に影響していると考えられる。

【今後の対応】

- ・地域差や中長期的な高齢者人口の推移、入所までの待機期間が短縮傾向にあるなどの状況を勘案しつつ、引き続き適切な施設整備に努めていく。

定期巡回・随時対応サービス提供事業所及び看護小規模多機能事業所数

3-3-1(2) プログラム P.15

〔R2 目標：150事業所 R2 実績：74事業所 達成率：49.3%(累計)〕

【理由】

- ・一定範囲内での利用者確保が必要などの経営上の課題や人員確保の難しさなどがあり、新たに11事業所が設置されたものの目標に及ばなかった。

【今後の対応】

- ・ケアマネジャーへの制度理解・活用促進のための働きかけ、利用者への普及・制度利用の促進、整備費や参入直後の賃借料補助に加え、新規参入事業者に対する人件費助成の拡大、専門家派遣等による事業所開設に向けた支援制度の創設を行うとともに、計画の前倒し実施も含め、市町へ積極的な設置を働きかける。

認知症疾患医療センターの鑑別診断受診者に占める認知症対応医療機関等からの紹介者の割合 3-3-2 プログラム P.16

〔R2 目標：95% R2 実績：75.5%（前年度比+2.2ポイント） 達成率：79.5%〕

【理由】

- ・認知症疾患医療センターの増加により医療機関からの紹介を基本とするセンターと、基本としないセンターに二極化している。
- ・紹介を基本としないセンターにおいては、鑑別診断の結果を地域のかかりつけ医へ逆紹介し、病診連携がとられている。認知機能に不安を感じた当事者が身近な認知症疾患医療センターで早期に受診するなど認知症の対応は進んでいるが、結果として、鑑別診断受診者に占める認知症対応医療機関等からの紹介者の割合が目標を下回った。

【今後の対応】

- ・地域医療連携体制強化事業補助を活用し、地域ごとに医療機関との連携体制の構築を図るよう、ネットワークの強化を推進する。

がん等治療のために一時休職する職員の代替職員雇用に対する補助利用企業数

3-3-3(2) プログラム P.19

〔R2 目標：40社 R2 実績：12社 達成率：30.0%(累計)〕

【理由】

- ・制度の対象となる中小企業に対して制度の周知に努めたが十分に浸透せず、昨年度実績(5件)を2件上回ったものの、目標には届かなかった。

【今後の対応】

- ・経営者団体の会報誌への制度掲載や企業へのダイレクトメールを送付するなど、積極的な制度の周知広報を行い、機運醸成、利用者の掘り起こしに努める。

依存症対策センターにおける相談件数

3-3-4(2) プログラム P.21

〔R2 目標：176件 R2 実績：86件 達成率：48.9%〕

【理由】

- ・ギャンブル依存症は自覚を持ちにくく、家族等が問題と感じていても相談機関につながらないケースがあると考えられる。

【今後の対応】

- ・関係機関との連携や研修・フォーラム等を通じて、依存症の問題とともに依存症対策センターという相談機関の存在を周知していく。

(その他新型コロナウイルスの影響が大きく、目標を下回った事業等)

兵庫県 4DAS 研修の基礎研修修了者数

3-3-2 プログラム P.16

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 3事業 〔完了済: 3事業〕

(主な事業等の実施状況)

特別養護老人ホーム「万寿の家」の移転・再整備

3-3-1(1) プログラム P.14

ビッグデータを活用した生活習慣改善指導の仕組みの整備

3-3-3(1) プログラム P.18

「受動喫煙の防止等に関する条例」の見直し

3-3-3(3) プログラム P.20

3 - 4 移住・定住対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
3-4 移住・定住対策	7	3	1	4	15	66.7%	2	17	69.2%
3-4-1 UJIターン促進プログラム	4	0	1	3	8	50.0%	2	10	62.5%
3-4-2 県内就職支援プログラム	3	3	0	1	7	85.7%	0	7	80.0%

空き家活用支援事業助成件数(3-4-1(3))は、「3-10 市街地再生対策」でカウントしているため、ここではカウントしない。

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標		(目標)	(実績)
移住相談によって県外から転入した人の数	3-4-1(1)	153人	249人
「ひょうごで働こう!マッチングサイト」マッチング件数	3-4-1(1)	100件	112件
ひょうごe-県民登録者数	3-4-1(2)	50,000人	52,159人
公的住宅活用戶数	3-4-1(3)	164戸	285戸
県外での合同企業説明会参加者数	3-4-2	400人	2,013人
中小企業情報発信支援事業における助成企業数	3-4-2	80社	89社
フォーラム参加者数	3-4-2	200人	297人

(目標を下回った主な事業等)

古民家再生促進支援事業改修工事費補助 3-4-1(3) プログラム P.25
 [R2 目標: 10 件 R2 実績: 4 件(対前年度比+1 件) 達成率: 40.0%]

【理由】

- ・市町の随伴補助が必須であるが、過半数の市町が補助制度を有していないことから、申請件数が伸び悩んだ。

【今後の対応】

- ・市町に対して随伴補助制度創設を要請するとともに、制度の改善について検討していく。
- ・空き家の再生事例を掲載したリーフレットや補助制度をまとめたパンフレットの配布、空き家所有者と活用希望者のマッチング等により、制度活用を図っていく。

(その他新型コロナの影響が大きく、目標を下回った事業等)

カムバックひょうごセンター(東京)における移住相談件数 3-4-1(1) プログラム P.23
 カムバックひょうごセンター(神戸)における移住相談件数 3-4-1(1) プログラム P.23
 インターンシップ参加者数 3-4-2 プログラム P.26

3 - 5 産業力強化対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
3-5 産業力強化対策	13	4	3	7	27	63.0%	1	28	73.1%
3-5-1 企業立地促進プログラム	1	2	1	1	5	60.0%	0	5	80.0%
3-5-2 起業・創業応援プログラム	4	0	2	1	7	57.1%	0	7	83.3%
3-5-3 次世代産業集積プログラム	5	2	0	3	10	70.0%	1	11	70.0%
3-5-4 新事業創出支援プログラム	3	0	0	2	5	60.0%	0	5	60.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
企業立地件数のうち、事務所立地件数	3-5-1 37件	52件
起業プラザひょうご会員数	3-5-2 80人	114人
起業プラザひょうご姫路・尼崎会員数	3-5-2 25人	31人
コワーキングスペース開設支援件数	3-5-2 15件	21件
事業承継時に発生する経費の補助件数	3-5-2 30件	32件
最先端技術研究事業(COE)参加企業等数	3-5-3(2) 136社	164社
行政分野におけるドローン活用事業数	3-5-3(2) 10件	15件
FOCUSⅡ [®] を利用して研究開発を行った企業数	3-5-3(2) 170社	215社
ミニ富岳等を活用した先端技術人材の交流・育成者数	3-5-3(2) 510人	536人
産学官連携による実践的な健康・医療ビジネスの人材育成コース開設数	3-5-3(2) 2コース	4コース
中小企業等融資制度における融資枠	3-5-4(1) 3,500億円	1兆3,000億円
異業種交流グループ支援件数	3-5-4(2) 40件	49件
発明賞等表彰受賞者数	3-5-4(2) 30人	40人

(目標を下回った主な事業等)

国家戦略特区事業認定件数 3-5-2 プログラム P.30

〔R2 目標：14件 R2 実績：12件 達成率：85.7%(累計)〕

【理由】

- ・制度活用に関する相談は複数あったものの、申請まで至らなかった案件もあり、目標に届かなかった。

【今後の対応】

- ・民間事業者、市町等へ制度の周知を行い、既存の規制緩和メニューの活用を進めるとともに、事業者等のニーズに応じた新たな規制緩和メニューの創設を国に提案していく。

IT企業の進出支援件数 3-5-2 プログラム P.30

〔R2 目標：74件 R2 実績：65件 達成率：87.8%(累計)〕

【理由】

- ・高度IT事業所開設支援制度の活用には市町の随伴補助が必要なため、市町に制度創設を働きかけたが、神戸市以外に制度を設けた市町はなかった。
- ・昨年度を2件上回る12件を支援したが、目標には届かなかった。

【今後の対応】

- ・各市町に高度 IT 事業所開設支援制度の随伴補助を働きかけるとともに、相談機関等を通じて制度の周知を行い、IT 事業所の県内進出につなげていく。

企業間連携による成長促進事業参加企業数 3-5-3(1) プログラム P.32
〔R2 目標：52 件 R2 実績：34 件 達成率：65.4%(累計)〕

【理由】

- ・コロナ禍の経済対策のため、中小企業庁が実施するものづくり補助金が応募要件の緩和、採択枠の拡充を行ったため、当制度の活用希望企業が少なかった。

【今後の対応】

- ・ものづくり補助金の拡充状況を鑑み、令和 2 年度限りで事業を廃止。

航空産業非破壊検査トレーニングセンターにおける検査員養成人数 3-5-3(1) プログラム P.32
〔R2 目標：25 人 R2 実績：9 人 達成率：36.0%〕

【理由】

- ・航空機産業の落ち込みにより、企業の受講意欲が低下した。
- ・新型コロナウイルスの影響により、超音波探傷(UT)の講習日程が確保できなかった。

【今後の対応】

- ・コロナ収束後の航空機産業の発展を見据えて、引き続き講習を実施する。
- ・国、関係機関とも連携し、更なる PR に努めるほか、資格試験不合格者に再講習を促すなどにより、検査員の要請に努める。

ひょうご No.1 ものづくり大賞応募企業数 3-5-4(2) プログラム P.36
〔R2 目標：15 社 R2 実績：10 社 達成率：66.7%〕

【理由】

- ・事業開始からの 9 年間で企業の掘り起こしが一定進んだことに加え、新型コロナウイルスの影響により、例年行っていた企業への案内活動を制限せざるを得なかったため。

【今後の対応】

- ・例年より周知期間を長く確保するとともに、市町や商工会議所等の協力を得ながら応募企業の確保に努めていく。

(その他新型コロナウイルスの影響が大きく、目標を下回った事業等)

企業立地件数	3-5-1	プログラム P.28
企業立地件数 うち、外国・外資系企業進出件数	3-5-1	プログラム P.28
起業支援件数	3-5-2	プログラム P.30
国際フロンティア産業メッセ参加企業数	3-5-3(1)	プログラム P.32

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 5 事業 〔完了済: 2 事業〕

(主な事業等の実施状況)

ひょうご小野産業団地の整備(一部分譲開始)	3-5-1	プログラム P.28
ものづくり支援センターの開設	3-5-4(1)	プログラム P.35
ひょうご神戸スタートアップファンドの創設	3-5-4(2)	プログラム P.36

3 - 6 農林水産業対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	、 の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) 、 の割合
3 - 6 農林水産業対策	9	7	1	4	21	76.2%	10	31	81.8%
3-6-1 農業の基幹産業化プログラム	2	2	1	2	7	57.1%	6	13	62.5%
3-6-2 森林資源活用プログラム	2	2	0	1	5	80.0%	3	8	80.0%
3-6-3 漁業資源増殖プログラム	5	3	0	1	9	88.9%	1	10	100.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
ひょうご農業MBA塾受講者数	3-6-1(1) 10人	11人
施設貸与事業実施経営体数	3-6-1(1) 15経営体	30経営体
ひょうごの木の家設計支援件数	3-6-2(1) 100件	106件
林内路網整備延長	3-6-2(2) 400km	584km
海底耕耘面積	3-6-3(1) 1,300ha	1,554ha
栄養塩管理運転実施箇所数	3-6-3(1) 24箇所	26箇所
豊かな海の再生に関する普及啓発活動への参加者数	3-6-3(1) 2,500人	2,914人
魚礁漁場整備箇所数(完成数)	3-6-3(2) 513箇所	515箇所
沖合底びき網漁船の代船建造数	3-6-3(2) 1隻	2隻

(目標を下回った主な事業等)

不耕作農地活用モデル事業(地域農地管理事業)実施地域数 3-6-1(1) プログラム P.38
 [R2 目標: 10 地域 R2 実績: 4 地域(対前年度比+2) 達成率: 40.0%]

【理由】

- ・事業計画の作成には、地域での話し合い、合意形成に時間を要するため、目標どおりに事業が進捗していない。
- ・R2 年度は前年度より 2 地域多い 4 地域で事業が実施されたものの、新型コロナウイルスの影響により合意形成が進まなかった地域もあり、目標達成には至らなかった。

【今後の対応】

- ・地域での話し合いを促進させるため、地域コーディネーターを派遣する取組を拡充する。これにより地域での合意形成を促し、事業の活発な活用につなげていく。

環境制御機器導入ハウス等面積 3-6-1(1) プログラム P.38
 [R2 目標(累計): 30ha R2 実績: 20.3ha 達成率: 67.7%(累計)]

【理由】

- ・新型コロナウイルスの影響による飲食店等の既存取引先への取扱量の減少により、大規模な設備投資・規模拡大は見送られる傾向にある。
- ・兵庫県の 1 戸・経営体あたりの平均経営耕地面積は 1.24ha (全国 3.05ha、北海道 30.21ha) と小さいため、多くが国交付金活用の要件(下限面積 5ha(中山間地域 3ha)) を満たせず、国交付金を活用した機器導入が困難である。

【今後の対応】

- ・今年度、30a以上の農家等を対象にした「ひょうご施設園芸産地競争力強化対策事業」を拡充し、概ね10a～30aの中・小規模の農家等を新たに対象とした。
- ・環境制御機器導入後の栽培管理に反映していくためのノウハウの蓄積が課題の1つになっているため、導入支援とあわせて活用方法を学ぶ研修会の開催等、導入前後の支援に取り組み、環境制御機器等の導入促進を図っていく。

生乳生産量 3-6-1(2) プログラム P.39
〔R2 目標：90,000t R2 実績：78,002t(対前年度比+626) 達成率：86.7%〕

【理由】

- ・酪農家の高齢化による廃業で飼養戸数が減少(前年比96.0%)したため、生産量は前年度を上回ったものの、目標には届かなかった。

【今後の対応】

- ・生乳生産量の増産を図るため、畜産参入支援センターによる法人等の新規参入支援や既存農家の規模拡大を推進する。

(その他新型コロナの影響が大きく、目標を下回った事業等)

主伐・再造林面積 3-6-2(2) プログラム P.41
藻場・干潟の再生創出面積 3-6-3(1) プログラム P.42

(2) 施設整備や計画策定等の目標：1事業 〔完了済：1事業〕

(主な事業等の実施状況)

CLT工法による兵庫県林業会館の建替 3-6-2(1) プログラム P.40

3 - 7 兵庫ブランド育成対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
3-7 兵庫ブランド育成対策	6	6	0	1	13	92.3%	1	14	100.0%
3-7-1 県産品ブランド力向上プログラム	3	5	0	0	8	100.0%	1	9	100.0%
3-7-2 海外展開応援プログラム	3	1	0	1	5	80.0%	0	5	100.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標		(目標)	(実績)
「五つ星ひょうご」認定数	3-7-1(1)	50商品	74商品
アンテナショップ(コトノハコ神戸「兵庫県おみあげ発掘屋」)認証食品取扱い品目数	3-7-1(2)	30品目	38品目
但馬牛博物館の改修及び来館者数	3-7-1(3)	13,400人	13,847人
海外ビジネスセンター、国際ビジネスサポートデスクにおける相談件数	3-7-2(1)	420件	422件
県内施設からの神戸ビーフの欧米向け輸出量	3-7-2(2)	5 t	19 t
国際水準GAPの認証取得経営体数	3-7-2(2)	30経営体	44経営体

(目標を下回った主な事業等(新型コロナの影響))

中小企業海外展開支援助成件数 3-7-2(1) プログラム P.47

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 4事業 [完了済: 1事業]

(主な事業等の実施状況)

国際的な日本酒コンパニオン「SAKE selection 2020」の兵庫開催 (R4年10月開催)

3-7-1(2) プログラム P.45

東京圏でのアンテナショップ「兵庫わくわく館」の運営 (東京交通会館での増床)

3-7-1(3) プログラム P.46

3 - 8 人材確保対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
3 - 8 人材確保対策	3	3	4	2	12	50.0%	11	23	64.3%
3-8-1 職業能力開発プログラム	2	1	3	0	6	50.0%	1	7	83.3%
3-8-2 介護・看護人材確保プログラム	0	1	1	2	4	25.0%	6	10	50.0%
3-8-3 農林水産業人材確保プログラム	1	1	0	0	2	100.0%	4	6	50.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
ひょうご若者就労支援プログラム参加者数	3-8-1(2) 100人	104人
中小企業従業員共済制度(ファミリーパック) 非正規従業員加入支援者数	3-8-1(2) 1,000人	1,179人
うち漁業研修制度における養成数	3-8-3 18人	20人

(目標を下回った主な事業等)

ひょうごケア・アシスタント事業就業者数 3-8-2(1) プログラム P.50
 [R2 目標: 600人 R2 実績: 202人 達成率: 33.7% (累計)]

【理由】

- ・ニーズにあわせて対象業務を追加したものの、まだ制度創設2年で周知が十分でないことに加え、R2年度は新型コロナの影響もあり、ケア・アシスタントの受入施設・事業所及び就業者数が大幅に減少した。

【今後の対応】

- ・就業希望者の目につきやすいよう施設周辺での広報活動を強化するほか、老人福祉事業協会等関係団体を通じた広報を強化する。
- ・今年度、就業者のニーズに合わせて研修期間中の経費支援に交通費を追加し、制度を充実させた。こうした支援により就業者の確保を図る。

(その他新型コロナの影響が大きく、目標を下回った事業等)

ものづくり大学等での在職者訓練実施人数 3-8-1(1) プログラム P.48
 ものづくり大学における中学生の体験者数 3-8-1(1) プログラム P.48
 ものづくり体験実習実施数 3-8-1(1) プログラム P.48
 潜在介護士等の再就職支援者数 3-8-2(1) プログラム P.50

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 4事業 [完了済: 2事業]

(主な事業等の実施状況)

芸術文化観光専門職大学の開学 3-8-1(1) プログラム P.48
 全国技能グランプリの開催 3-8-1(1) プログラム P.48

3 - 9 働き方改革対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
3-9 働き方改革対策	1	4	1	7	13	38.5%	1	14	20.0%
3-9-1 女性・シニア活躍応援プログラム	0	1	0	5	6	16.7%	1	7	0.0%
3-9-2 ワーク・ライフ・バランスプログラム	1	3	1	2	7	57.1%	0	7	40.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
WLB推進宣言企業数	3-9-2(1) 200社	488社

(目標を下回った主な事業等)

女性就業相談室等の支援による就職者数 3-9-1(1) プログラム P.54
 [R2 目標：800人 R2 実績：241人 達成率：30.1%]

【理由】

- ・女性就業相談室では積極的な広報等により相談者数(R1：5,897人 R2:6,407人)を増やしたものの、伸び率は8%程度と就職者数の目標伸び率より低く、目標達成には十分でなかった。
- ・加えて、R2年度は新型コロナの影響により県内の有効求人倍率が低下し、厳しい雇用情勢の中、就職者数が減少した。

【今後の対応】

- ・県立男女共同参画センターが実施する女性就業支援講座やセミナーへの誘導、保育室やキッズコーナーを備え、相談・情報提供から職業紹介までワンストップで支援を行う女性就業相談室の積極的な周知、労働局との更なる連携強化等により、支援を必要としている女性の利用促進を図っていく。

女性活躍推進のための行動計画(一般事業主行動計画)策定率 3-9-1(1) プログラム P.54
 [R2 目標：50% R2 実績：4.9%(対前年度比+1.5ポイント) 達成率：9.8%]

【理由】

- ・中小企業においては、一般事業主行動計画の策定が努力義務にとどまっていることから、策定率は前年度に比べ増加したものの、目標達成には至っていない。

【今後の対応】

- ・女性活躍推進法の改正により、R4年4月から労働者101人以上の企業は計画策定が義務化されることを見据え、今年度、女性活躍推進専門員を増員して支援情報の発信や企業へのコンサルティング・講師派遣を実施するなど、女性の活躍企業育成プロジェクトを強化し、中小企業の計画策定に向けた更なる支援を行う。

中小企業育児・介護代替要員確保支援助成件数 3-9-1(2) プログラム P.55
 [R2 目標：200件 R2 実績：83件 達成率：41.5%]

【理由】

- ・新型コロナの影響により年度当初の保育所の受け入れが遅れ、職場復帰を遅らせるケースが多くみられた。そのまま復帰せずに退職に至ることもあったことなどにより、前年度より実績が減少した。

【今後の対応】

- ・企業の個別訪問により中小企業等における育児・介護休業や短時間勤務制度の活用促進を図るほか、情報誌、セミナー等でのPR、ハローワークに求人募集している企業へのダイレクトメール送付等により、積極的な広報に努める。

中小企業育児・介護等離職者雇用助成件数 3-9-1(2) プログラム P.55
〔R2 目標：120件 R2 実績：19件 達成率：15.8%〕

【理由】

- ・前職を結婚・育児・介護等で離職した人を採用することが要件となっているが、採用時に離職理由や家庭状況等のプライバシーに関する情報を企業が把握しにくいことが要因の一つとなり、助成件数が伸びていない。
- ・また、コロナ禍で有効求人倍率が大きく下がったこともあり、前年度実績を下回った。

【今後の対応】

- ・企業の個別訪問や情報誌・セミナー等での制度の広報、ハローワークに求人募集している企業へのダイレクトメールの送付等、積極的な制度の周知に努める。

県職員のワーク・ライフ・バランスの推進(男性の育児参加休暇取得率) 3-9-2(1) プログラム P.56
〔R2 目標：100% R2 実績：89.6%〕

【理由】

- ・親族の育児支援があったことや新型コロナ対応による業務量の増加などから、一定程度、休暇を取得しなかった職員があった。

【今後の対応】

- ・子の出生予定がある男性職員と上司による「子育てサポートミーティング」の実施を徹底し、男性職員の休暇の計画的な取得促進を行う。
- ・また、周囲の育児支援がある場合でも、本人の育児参加のために積極的に休暇を取得するよう周知を行う。

田舎暮らし農園施設整備、空き家改修の実施地区数 3-9-2(2) プログラム P.57
〔R2 目標：50地区 R2 実績：25地区 達成率：50.0% (累計)〕

【理由】

- ・事業の活用に関する相談はあったが、「遊休農地の取得後1年以内の者」としている対象要件に合わず、事業実施を諦める方が多くいたため、前年度実績(2地区)を上回る5地区で実施したものの、目標達成には至らなかった。

【今後の対応】

- ・今年度から、一部について事業要件を「5年以内」に緩和した。利用者の利便性を向上することで事業の活用推進を図っていく。

(その他新型コロナの影響が大きく、目標を下回った事業等)

地域楽農生活センターの開設数 3-9-2(2) プログラム P.57

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 1事業 〔完了済: 1事業〕

(主な事業等の実施状況)

兵庫楽農生活センターのリニューアル(機能充実) 3-9-2(2) プログラム P.57

3 - 1 0 市街地再生対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
3 - 1 0 市街地再生対策	3	3	4	5	15	40.0%	1	16	66.7%
3-10-1 中心市街地・商店街再生プログラム	1	1	2	3	7	28.6%	1	8	85.7%
3-10-2 空き家活用プログラム	2	2	2	2	8	50.0%	0	8	50.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
まちなか再生計画策定件数	3-10-1(1) 6件	7件
市町の空き家バンク登録住宅数	3-10-2(1) 400件	2,506件
老朽危険空き家除却支援事業	3-10-2(1) 45件	61件

(目標を下回った主な事業等)

市街地における新たな緑化面積 3-10-1(2) プログラム P.59
 [R2 目標：50ha R2 実績：42.8ha 達成率：85.6% (累計)]

【理由】

- ・県民まちなみ緑化事業の申請件数は増加したものの（R1:139件 R2:151件）、人口集中地区で小規模な緑化が多数を占めた。
- ・コロナ禍で対面でのPRが難しいなどの条件の中でも、前年度を上回る8.5haの緑化活動を支援したが、目標達成までには至らなかった。

【今後の対応】

- ・今年度から、人工集中地区での最小補助面積の引き下げや商店街等でのプランターによる緑化の対象への追加など、制度を拡充する。
- ・専門家による講習会を通じ、まとまった面積の緑化事例を紹介するなど、市街地内の緑化面積の確保につながる支援を行うとともに、緑化活動を希望する団体の掘り起こしや地域で活動する花緑団体へのPR等により事業の活用促進に努める。

インスペクションを活用した中古住宅流通件数 3-10-2(1) プログラム P.60
 [R2 目標：200件 R2 実績：39件 達成率：19.5%]

【理由】

- ・インスペクション（建物状況調査）自体の認知度が低く、また、改正宅建業法の施行により、媒介契約締結時におけるインスペクションの斡旋可否の告知等が義務付けられたが、依然として斡旋に消極的な宅建業者が多い。
- ・新型コロナウイルスの影響により、イベント等での県民向けPR活動が実施できなかった。

【今後の対応】

- ・今年度から、事業者に加え一般県民を中心に補助制度やインスペクションの効果・メリットの周知を図ることで、制度の一層の活用を推進する。

空き家活用支援事業助成件数 3-10-2(1) プログラム P.60
〔R2 目標：90 件 R2 実績：72 件(対前年度比+21) 達成率：80.0%〕

【理由】

- ・市街化区域内は市町の随伴補助が必須であるが、対象市町のほとんどが補助制度を有していないこともあり、過去最高の 72 件の空き家活用を支援したものの、目標達成には至らなかった。
- ・H29 年度より、耐震性能を補助要件に加えたため、安全性を確保するために大規模改修が必要となるような旧耐震基準で建築されている空き家の申請が減少した。
- ・年度当初に補助額の大きい地域交流拠点型の申請が想定より多くあったため、一時募集を停止したことも影響した。

【今後の対応】

- ・市町に対して随伴補助制度の創設を要請するとともに、制度の改善について検討していく。
- ・宅地建物取引業者、リフォーム会社、協会等を通じて住宅取得希望者への PR に努める。
- ・ホームページ等に耐震改修費補助とセットで事業の提案を掲載し、周知する。
- ・今年度、UJI ターン世帯向けの住宅及び事業所の改修補助額の増額等の制度拡充を行うとともに、予算額を増額したことで、空き家の活用促進を図る。

空き家・空き店舗を活用した起業・創業件数 3-10-2(1) プログラム P.60
〔R2 目標：34 件 R2 実績：28 件 達成率：82.4%〕

【理由】

- ・空き家を活用した起業の申請件数は例年並みにあったが、結果的に空き家以外で起業するプランが多く採択された。

【今後の対応】

- ・空き家活用による補助上限額の増額など、メリットを含めて助成制度を県内外に周知し、空き家の活用を促進していく。

郊外型住宅団地におけるコーディネーター派遣地区数 3-10-2(2) プログラム P.61
〔R2 目標：2 地区 R2 実績：1 地区(対前年度比+1) 達成率：50.0%〕

【理由】

- ・市町担当者会議等で制度の周知を依頼し、自治会や協議会等に直接広報したこともあって 1 地区で派遣実績があったが、制度活用のメリットについて理解が深まらなかったことや団地再生の機運が高まっていないことから、活用に至る団体が限られた。

【今後の対応】

- ・市町へ制度周知に関して一層の協力を求めるとともに、研修会や出前講座等に合わせて自治会や協議会等に制度の周知を行う。
- ・団地再生の取り組みを拡充する市と連携して活動団体の掘り起こしを行うなどにより、活用を促進する。

(その他新型コロナウイルスの影響が大きく、目標を下回った事業等)

空き店舗出店によるしごと創出人数	3-10-1(1)	プログラム P.58
若者・女性等のチャレンジ新規出店によるしごと創出人数	3-10-1(1)	プログラム P.58
継続的な商店街のファンを獲得できるような取組み件数	3-10-1(1)	プログラム P.58
商店街における共同施設建設または撤去件数	3-10-1(1)	プログラム P.58

3 - 1 1 交流促進対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	、 割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) 、 割合
3 - 1 1 交流促進対策	11	4	3	13	31	48.4%	13	44	89.5%
3-11-1 感動体験ツーリズム展開プログラム	0	2	0	1	3	66.7%	5	8	75.0%
3-11-2 訪日外国人受入環境整備プログラム	0	0	0	2	2	0.0%	3	5	50.0%
3-11-3 多自然地域再生プログラム	5	1	0	2	8	75.0%	0	8	87.5%
3-11-4 新しい魅力づくりプログラム	4	0	2	5	11	36.4%	3	14	100.0%
3-11-5 国際交流拡大プログラム	2	0	0	3	5	40.0%	2	7	100.0%
3-11-6 ワールドマスターズゲームズ2021関西プログラム	0	1	1	0	2	50.0%	0	2	100.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標		(目標)	(実績)
地域再生アドバイザー派遣地区数	3-11-3	25地区	32地区
地域運営組織法人化推進事業実施地区数	3-11-3	21地区	26地区
国版地域おこし協力隊隊員数	3-11-3	100人	102人
県版地域おこし協力隊隊員数	3-11-3	30人	37人
ふるさと応援交流センターを通じたボランティア研修や研修会参加等の活動者数	3-11-3	1,000人	1,983人
神戸マラソン応募者数(新型コロナの影響により中止)	3-11-4(1)	20,000人	41,781人
丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム関連施設来場者数	3-11-4(2)	110,000人	115,360人
丹波恐竜化石剖出作業ボランティア人材登録数	3-11-4(4)	10人	18人
日本遺産認定件数	3-11-4(4)	7件	9件
私費外国人留学生への奨学金支給人数	3-11-5(2)	150人	163人
地元の研究機関等との連携した共同研究件数	3-11-5(3)	6件	14件

(目標を下回った主な事業等(新型コロナの影響))

県内宿泊客数	3-11-1(3)	プログラム P.63
商店街等による外国人受入環境整備支援件数	3-11-2	プログラム P.64
外国人雇用 HYOGO サポートデスク相談件数	3-11-2	プログラム P.64
大学との連携による地域創生活動支援事業実施団体数	3-11-3	プログラム P.65
農山漁村と都市部の交流活動支援数	3-11-3	プログラム P.65
兵庫県民農林漁業祭来場者数	3-11-4(1)	プログラム P.67
六甲山ビジターセンター訪問者数	3-11-4(2)	プログラム P.67
赤穂海浜公園入園者数	3-11-4(2)	プログラム P.68
山陰海岸ジオパークエリア内観光客数	3-11-4(2)	プログラム P.68
あわじ花さじき来園者数	3-11-4(2)	プログラム P.68
北淡路花緑関連施設の観光客数	3-11-4(2)	プログラム P.68
移動博物館車「ゆめはく」の実施回数	3-11-4(4)	プログラム P.70
訪問団による訪問地域数	3-11-5(1)	プログラム P.72
HUMAPによる留学支援者数	3-11-5(2)	プログラム P.72
JICA研修生受入人数	3-11-5(3)	プログラム P.73
WMGs2021 関西プレ大会における実施競技団体数	3-11-6	プログラム P.74

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 16事業〔完了済: 9事業〕

(主な事業等の実施状況)

明石城築城400周年に向けた明石城の環境整備、記念事業の展開

3-11-4(3) プログラム P.69

有馬富士公園の魅力向上に向けた「新宮晋 地球アトリエ」構想の推進(R2設計者選定)

3-11-4(3) プログラム P.69

「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」の開催(R3年3~5月、9~10月開催)

3-11-4(3) プログラム P.69

県立公園あわじ花さじきの整備

3-11-4(3) プログラム P.69

「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録に向けた取組の推進(海外類似資産との連携)

3-11-4(4) プログラム P.70

「ひょうごの景観ビューポイント150選」の選定と活用

3-11-4(4) プログラム P.70

日米草の根交流サミットの開催

3-11-5(1) プログラム P.72

ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向けた準備(R4年5月開催)

3-11-6 プログラム P.74

政策4：地域創生の基盤づくり

4-1 地震・津波対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
4-1 地震・津波対策	3	5	2	1	11	72.7%	3	14	75.0%
4-1-1 防災・減災基盤整備プログラム	0	3	0	0	3	100.0%	0	3	100.0%
4-1-2 耐震化促進プログラム	3	2	2	1	8	62.5%	3	11	66.7%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
草の根意識啓発の実施数	4-1-2(1) 34,600戸	34,797戸
道路橋の耐震強化実施数	4-1-2(3) 20橋	38橋
道路法面の防災対策実施数	4-1-2(3) 61箇所	134箇所

(目標を下回った主な事業等)

簡易耐震診断実施戸数 4-1-2(1) プログラム P.78
 [R2 目標：15,000 戸 R2 実績：11,679 戸 達成率：77.9% (累計)]

【理由】

- ・耐震診断の必要性や少ない費用負担で耐震診断が可能であることが建物所有者に十分に認識されていないこと、また、診断結果に伴う耐震改修工事の費用に対する不安感などから、特に共同住宅で実績戸数が伸び悩んだ。
- ・また、コロナ禍で耐震診断員の訪問活動が限られたことも影響している。

【今後の対応】

- ・診断後の耐震改修に係る補助制度（住宅耐震化、部分型耐震化、住宅建替）の対象に今年度からマンションも追加したことから、拡充内容も含めて制度の周知を図る。
- ・出前講座、相談会、現地見学会の開催、耐震化イベント、ポスティングなど、市町が行う草の根の意識啓発活動を支援していく。

兵庫県住宅再建共済制度加入率 4-1-2(4) プログラム P.80
 [R2 目標：15.0% R2 実績：9.6% 達成率：64.0%]

【理由】

- ・制度の認知度の低さや都市部での加入率の低迷、脱退者の発生による。

【今後の対応】

- ・市町等との連携強化による広報推進、加入強化月間での集中的な広報・加入促進活動、フェニックスサポーター制度の推進、マスメディアの活用やターゲットを絞った広報活動等により、加入率の増加に努める。

(2) 施設整備や計画策定等の目標：6 事業 [完了済：1 事業]

(主な事業等の実施状況)

防潮水門等の整備（津波防災インフラ整備計画（～R5）に基づき推進） 4-1-1(1) プログラム P.76
 防潮堤等の整備延長（ ” ” ） 4-1-1(2) プログラム P.77
 日本海沿岸地域における津波避難計画の策定 4-1-1(3) プログラム P.77

4 - 2 風水害対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
4-2 風水害対策	6	9	2	1	18	83.3%	2	20	78.6%
4-2-1 山崩れ・土石流防止プログラム	2	2	0	0	4	100.0%	1	5	100.0%
4-2-2 森林管理プログラム	4	0	0	1	5	80.0%	1	6	80.0%
4-2-3 治水対策プログラム	0	7	2	0	9	77.8%	0	9	60.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
浚渫箇所数	4-2-1(2) 18箇所	23箇所
土砂災害特別警戒区域 (R 区域) の指定数	4-2-1(3) 10,000箇所	12,878箇所
緊急防災林整備面積	4-2-2(1) 23,890ha	24,303ha
里山防災林整備面積	4-2-2(1) 4,584ha	5,241ha
都市山防災林整備面積	4-2-2(1) 160ha	178ha
森林ボランティア活動促進事業による森林ボランティアリーダー養成数	4-2-2(3) 950人	985人

(目標を下回った主な事業等)

森林環境譲与税を活用した非経済林での間伐面積 4-2-2(1) プログラム P.83
〔R2 目標：1,200ha R2 実績：553ha(対前年度比+181) 達成率：46.1%〕

【理由】

- 令和元年度に森林環境譲与税が創設され、人工林が多い市町では順次、森林所有者の意向確認を行っているところであり、本格的な間伐の実施には至っていない。そのため、昨年度より実績が 1.5 倍程度伸びたものの、目標には届かなかった。

【今後の対応】

- ひょうご森づくりサポートセンターによる市町への技術的な助言や技術者派遣に加え、ひょうご農林機構が間伐等の森林整備にかかる設計・発注・監督業務を受託できる体制を整え、市町による非経済林の間伐の加速化を支援する。

ため池整備着手箇所数 4-2-3(3) プログラム P.87
〔R2 目標：466 箇所 R2 実績：330 箇所 達成率：70.8% (累計)〕

【理由】

- 改修整備の着手より決壊リスクが高く利用実態のない管理放棄ため池の廃止を優先的に進めた。(R2 工事着手 43 箇所のうち改修整備 21 箇所、廃止 22 箇所)
- また、ため池整備は工事着手から完了まで 4~5 年を要し、国の施策により多くの予算を受けた H28~29 年度着手地区が工事継続中であることから、R2 年度の新規着手が抑制された。

【今後の対応】

- H28~29 年度着手地区の多くが R2 年度完了であることから、市町との連携により計画的な新規着手に取り組む。
- R2 年度に制定された「ため池工事特措法」に基づき、R3 年度から「第 2 次ため池整備 5 箇年計画」を「ため池工事等推進計画」に移行して事業を実施する。同計画では、廃止工事も危険度の高いため池改修として位置付けられていることから、計画的な新規着手が見込まれる。

指定貯水施設等の指定数(ため池)

4-2-3(4) プログラム P.88

〔R2 目標：270 箇所 R2 実績：217 箇所 達成率：80.4% (累計)〕

【理由】

- ・市町での助成制度創設が要件となるが、市町の財政状況が厳しく、制度創設に至らない市町が多いことが影響している。(制度創設：12 市町)
- ・単年度実績では、前年度(55 箇所)から大きく増加し、目標値を上回った(目標:90 箇所、実績:97 箇所)ものの、累計の目標達成には至らなかった。

【今後の対応】

- ・制度創設に至っていないものの、取組みに対して前向きな意向を示している市町もある。そうした市町に対して、ため池管理者の声、効果事例、近隣市町の取組状況等を情報提供することによって制度創設を促し、指定数の増加を図る。

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 4 事業 〔完了済: 1 事業〕

(主な事業等の実施状況)

再度災害防止のための河川改修工事(法華山谷川) 4-2-3(1) プログラム P.85

武庫川の河川整備の継続実施 4-2-3(1) プログラム P.85

市川(砥堀工区)の河川整備工事の継続実施(R9 完了) 4-2-3(1) プログラム P.85

既存ダムの治水活用(河川対策アクションプログラム(~R10)に基づき推進)

4-2-3(1) プログラム P.86

4 - 3 防災力向上対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
4 - 3 防災力向上対策	4	4	1	5	14	57.1%	3	17	85.7%
4-3-1 避難体制整備プログラム	3	1	1	1	6	66.7%	2	8	83.3%
4-3-2 防災人材育成プログラム	1	3	0	4	8	50.0%	1	9	87.5%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
「マイ避難カード」県内実施小学校区	4-3-1(1) 60校区	151校区
福祉避難所数	4-3-1(2) 1,000箇所	1,052箇所
防災アプリダウンロード件数	4-3-1(6) 150,000件	153,240件
「ひょうご防災リーダー」養成数	4-3-2(2) 3,130人	3,170人

(目標を下回った主な事業等)

避難行動要支援者の個別支援計画の作成人数 4-3-1(2) プログラム P.89
 [R2 目標：65,000 人 R2 実績：46,255 人 達成率：71.2% (累計)]

【理由】

- ・計画作成 1 件毎に市町職員の労力が多くかかることや、新型コロナの影響により計画作成の軸となる自主防災組織の活動が自粛傾向にあったため、計画作成の取組みが滞った。

【今後の対応】

- ・新型コロナの状況を見極めつつ、市町の地域での取組を支援していく。

BCP 策定事業所数 4-3-1(3) プログラム P.90
 [R2 目標：150 事業所 R2 実績：37 事業所 達成率：24.7%]

【理由】

- ・取組 2 年目でまだ周知が十分でないことに加え、新型コロナの影響により感染防止対策や資金繰り対策等に注力する企業が多く、BCP 策定に取組む企業が少なかった。

【今後の対応】

- ・商工会・商工会議所を通じた広報に加え、新たに金融機関、経営者協会を通じた周知を行うなど広報手段を強化するとともに、感染症禍における BCP の必要性を啓発することなどによって、取組みの掘り起こしを行う。

(その他新型コロナの影響が大きく、目標を下回った事業等)

企業防災協力隊と消防団との連携訓練等実施件数 4-3-2(1) プログラム P.92
 広域防災センターの利用者数 4-3-2(2) プログラム P.92
 ひょうご安全の日推進事業の助成件数 4-3-2(2) プログラム P.92
 人と防災未来センター利用者数 4-3-2(4) プログラム P.93

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 2 事業

(主な事業等の実施状況)

人と防災未来センターの展示リニューアル(東館 3 階) (R3 年 6 月リニューアルオープン)

4-3-2(4) プログラム P.93

4 - 4 暮らしの安全安心対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
4-4 暮らしの安全安心対策	12	7	4	3	26	73.1%	4	30	68.0%
4-4-1 地域医療体制整備プログラム	3	1	1	0	5	80.0%	4	9	80.0%
4-4-2 県立病院充実プログラム	0	1	0	0	1	100.0%	0	1	0.0%
4-4-3 障害者安心確保プログラム	1	1	0	3	5	40.0%	0	5	0.0%
4-4-4 身近な異変への対応力向上プログラム	5	4	0	0	9	100.0%	0	9	88.9%
4-4-5 交通安全プログラム	3	0	3	0	6	50.0%	0	6	83.3%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
へき地等勤務医師の派遣人数	4-4-1(2) 200人	323人
がん診療に携わる医師、臨床研修医の緩和ケア研修受講者数	4-4-1(2) 5,600人	6,411人
地域医療活性化センターにおける医師等を対象にした臨床技能研修受講者数	4-4-1(2) 1,600人	1,824人
リハビリテーション施設年間利用延べ人数	4-4-3(3) 1,000人	2,426人
適切な関係機関へのつなぎ件数	4-4-4(1) 4,756件	4,970件
体感治安の向上	4-4-4(1) 82.4%	84.0%
青少年が使用する携帯電話のフィルタリング利用率	4-4-4(3) 77.5%	78.7%
小中学校等におけるルール策定率	4-4-4(3) 65%	100.0%
児童虐待対応協力病院数	4-4-4(4) 8箇所	14箇所
通学路の安全対策(歩道等の整備等)	4-4-5(1) 16km	21km
問題踏切対策箇所数	4-4-5(2) 22箇所	33箇所
自転車関係事故件数	4-4-5(3) 5,600件	4,311件

(目標を下回った主な事業等)

重症心身障害児通所支援・居宅訪問型事業所の整備促進 4-4-3(2) プログラム P.99
 [R2 目標：計 16 市町 R2 実績：計 2 市町 達成率：12.5%]

【理由】

- ・看護職員等専門スタッフの確保が困難なことや、対象者の少ない郡部では継続・安定的な運営が困難であることから設置が思うように進んでいない。また、新型コロナの影響もあり、新規開設を延期した事例もあった。

【今後の対応】

- ・上記の課題や国の方針を踏まえ、複数市町(圏域)での設置も見据えた整備方針とし、市町への働きかけを通じて整備促進を図っていく。

強度行動障害がある方に対する集中支援実施者数 4-4-3(4) プログラム P.100
 [R2 目標：6 人 R2 実績：1 人 達成率：16.7%]

地域支援短期研修受講者数 4-4-3(4) プログラム P.100
 [R2 目標：12 人 R2 実績：2 人 達成率：16.7%]

【理由】

- ・強度行動障害者は、噛み付き等の他害行為のほか、自傷行為等の危険な行動特性をもつため、その支援にはハードな身体接触が避けられず、コロナ禍で事業実施が困難な時期が多くあった。

- ・研修に参加するため、職員が長期に派遣元施設を離れることが支障となり、申込が伸び悩んだ。

【今後の対応】

- ・事業者の参加障壁を取り除くため、地域支援短期研修期間の一部は職員を派遣するのではなく、派遣元施設において研修を実施できるよう事業者間の調整を行うなどし、利用を促していく。

渋滞交差点の解消・緩和箇所

4-4-5(2) プログラム P.104

〔R2 目標：8箇所 R2 実績：7箇所 達成率：87.5%（累計）〕

【理由】

- ・単年度実績では、前年度(2箇所)を上回り、目標値に達した(目標:5箇所、実績:5箇所)ものの、関係者との調整等に時間を要し、事業完了に至らなかった箇所が1箇所あったため、累計の目標達成には至らなかった。

【今後の対応】

- ・引き続き関係者との調整を密に行い、未完了箇所の工事推進をめざす。

自転車通行空間の整備延長

4-4-5(3) プログラム P.105

〔R2 目標：24km R2 実績：21km 達成率：87.5%（累計）〕

【理由】

- ・R2 年度は用地補償費を中心に予算を充当した結果、施工延長が伸びなかった。

【今後の対応】

- ・計画的な予算配分、事業の進捗に努め、整備延長を図る。

自転車保険加入率

4-4-5(3) プログラム P.105

〔R2 目標：80% R2 実績：68.8% 達成率：86.0%〕

【理由】

- ・アンケート調査によると、週1回以上自転車を利用する者の保険加入率は81.9%だったものの、利用頻度の少ない人の加入率が低かった。また、年代別では20代と70代、地域別では但馬地域の加入率が低かったことから、目標達成に至らなかった。

【今後の対応】

- ・自転車や無保険状態のリスク等について加入率の低い地域や年代に対して重点的に周知し、保険加入の促進に取り組んでいく。

(2) 施設整備や計画策定等の目標：9事業（完了済：2事業）

（主な事業等の実施状況）

丹波医療センターの開院

4-4-2 プログラム P.98

はりま姫路総合医療センター(仮称)の開院(R4年5月)

4-4-2 プログラム P.98

西宮病院と西宮市立中央病院の統合病院の整備(R2基本設計)

4-4-2 プログラム P.98

がんセンターの建替整備に関する基本計画の策定(R2基本計画)

4-4-2 プログラム P.98

県立障害児者リハビリテーションセンターの開設

4-4-3(3) プログラム P.99

4 - 5 自然共生・環境対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
4 - 5 自然共生・環境対策	4	4	3	2	13	61.5%	14	27	81.3%
4-5-1 温室効果ガス削減プログラム	1	1	0	0	2	100.0%	3	5	50.0%
4-5-2 エネルギー活用プログラム	1	0	0	1	2	50.0%	1	3	50.0%
4-5-3 資源循環プログラム	0	0	1	0	1	0.0%	4	5	-
4-5-4 動物共生プログラム	2	2	0	1	5	80.0%	6	11	88.9%
4-5-5 郷土の森づくりプログラム	0	0	2	0	2	0.0%	0	2	100.0%
4-5-6 環境体験推進プログラム	0	1	0	0	1	100.0%	0	1	100.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
うちエコ診断実施件数	4-5-1(3) 10,000件	11,235件
住宅用創エネ・省エネ融資、HEMS補助、家庭用蓄電池補助の合計件数	4-5-2(2) 500件	642件
野生成熟個体数	4-5-4(4) 106羽	112羽
犬及び猫の適正飼養の強化(犬猫の殺処分数の減少)	4-5-4(5) 900頭	780頭

(目標を下回った主な事業等)

水素ステーション立地数 4-5-2(3) プログラム P.108
 [R2 目標：8箇所 R2 実績：3箇所 達成率：37.5% (累計)]

【理由】

- ・水素ステーション設置企業において、首都圏への設置が優先されたため、4年ぶりに1箇所(姫路市)新設されたものの、目標達成には至らなかった。

【今後の対応】

- ・水素ステーション設置やFCV導入、FCバス導入に対する補助のPRに努めるとともに、大阪・関西万博を見据え、水素ステーション設置企業に対して働きかける。

ツキノワグマ有害捕獲頭数 4-5-4(3) プログラム P.113
 [R2 目標：100頭 R2 実績：53頭 達成率：53.0%]

【理由】

- ・出没情報等をもとにツキノワグマの生息数を推定し、推定生息数の8%を上限に年間捕獲数を設定している。R2年度は722頭(中央値)と推定されたため捕獲頭数の上限を57頭に設定し、結果的に53頭の有害捕獲を行った。

【今後の対応】

- ・集落へのクマ出没を防止するため、県・市町等を対象とした研修会や、ボランティア組織と連携した環境整備、危険な出没個体の有害捕獲の強化と奥山への追い戻し効果の期待できる狩猟等により、人とクマの棲み分けを図る。

(その他新型コロナの影響が大きく、目標を下回った事業等)

フードドライブに定期的に取り組むスーパー等がある市町数 4-5-3(3) プログラム P.111
 尼崎の森中央緑地への植栽本数 4-5-5 プログラム P.115
 企業の森づくり活動参画企業数 4-5-5 プログラム P.115

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 6事業 [完了済: 1事業]

(主な事業等の実施状況)

総合射撃場(仮称)の整備(R2 基本計画・実施設計) 4-5-4(1) プログラム P.112

4 - 6 ユニバーサル社会づくり対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
4-6 ユニバーサル社会づくり対策	14	7	2	6	29	72.4%	4	33	78.6%
4-6-1 障害者自立支援プログラム	9	1	1	2	13	76.9%	2	15	84.6%
4-6-2 パリアフリー環境整備プログラム	2	2	1	2	7	57.1%	0	7	71.4%
4-6-3 困窮者支援・差別解消プログラム	1	1	0	2	4	50.0%	1	5	50.0%
4-6-4 多文化共生社会推進プログラム	2	3	0	0	5	100.0%	1	6	100.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
障害者雇用率	4-6-1(1) 2.20%	2.21%
特例子会社設立数	4-6-1(1) 30社	31社
障害者の雇用率(教育委員会)	4-6-1(1) 1.25%	1.42%
在宅ワーク推進セミナー参加者数	4-6-1(2) 180人	322人
地域生活が安定した精神障害者数	4-6-1(6) 16人	23人
大学等への助言・講習等支援件数	4-6-1(7) 10件	15件
失語症者向け意思疎通支援者養成研修修了者数	4-6-1(8) 20人	27人
オーディオブック等の整備冊数	4-6-1(9) 500冊	1,503冊
養成講座修了者数 手話通訳者・要約筆記者	4-6-1(10) 20人	69人
みんなの声かけ運動応援協定締結団体数	4-6-2(1) 186団体	215団体
介護・医療等ロボット事業・実用化促進事業及び医療機器参入支援事業採択数	4-6-2(3) 7社	9社
高等職業訓練促進給付金事業による資格取得者数	4-6-3(1) 55人	61人
シェアハウス入居可能数	4-6-4(1) 36人	61人
ひょうご多文化共生総合相談センター相談件数	4-6-4(2) 2,800件	3,630件

(目標を下回った主な事業等)

障害者人材登録システム登録者数 4-6-1(2) プログラム P.117

〔R2 目標：50人 R2 実績：33人 達成率：66.0%〕

【理由】

- ・発注企業の開拓が十分でないことや新型コロナの影響もあり、登録希望者のスキルに対応した業務の受注が少なく、目標達成に至らなかった。

【今後の対応】

- ・今年度、システムの運営事業者を1社から2社に拡充し、体制を強化した。
- ・在宅障害者と企業のマッチング等を支援するコーディネーターや企業の発注開拓に従事する仕事開拓員を中心に企業の発注促進や新規発注企業の開拓に努める。

みんなの声かけ運動推進員数 4-6-2(1) プログラム P.121

〔R2 目標：200人 R2 実績：29人 達成率：14.5%〕

【理由】

- ・平成15年から続く県民運動であり、各種ユニバーサル関連イベントでのブース出展等を行っているが啓発方法がマンネリ化してきている。また、新型コロナの影響もあり、推進員数が伸び悩んだ。

【今後の対応】

- ・特に中高生に向けて「みんなの声かけ運動啓発ポスター」の募集を行うことや、「みんなの声かけ運動出前講座」を行う際に推進員についてもPRするほか、ラジオ番組「濱田祐太郎ひょうごユニバーサル通信」でも周知し、推進員の裾野を拡げていく。

ロボットリハビリテーション年間利用延べ人数 4-6-2(3) プログラム P.122
〔R2 目標：5,000人 R2 実績：1,957人 達成率：39.1%〕

【理由】

- ・リハビリ実施患者実数が毎年2,000～3,000人で推移していることに加え、新型コロナウイルスの影響により外来患者等が減少したことが影響している。

【今後の対応】

- ・県立リハビリテーション中央病院との連携により、リハビリ患者の確保を積極的に進めていく。

子どもの学習支援事業の実施市町数 4-6-3(1) プログラム P.123
〔R2 目標：37市町 R2 実績：23市町 達成率：62.2% (累計)〕

【理由】

- ・未実施の市に対して働きかけを行ったものの、市の予算編成等の状況により新規事業として立ち上げることが難しく、新たに実施した市がなかった。

【今後の対応】

- ・子どもの貧困対策法がR元年度に改正され、貧困対策についての計画策定が市区町村の努力義務とされたことを踏まえ、より積極的に未実施の市に対して働きかけを行っていく。

刑務所出所者等への雇用導入支援件数 4-6-3(2) プログラム P.124
〔R2 目標：20件 R2 実績：13件(対前年度比+2) 達成率：65.0%〕

【理由】

- ・刑務所入所者自体が減少していることに加え、コロナ禍で企業の求人が減少する中、協力雇用主でも刑務所出所者の雇用が減少したため、昨年度実績を上回ったものの、目標達成には至らなかった。

【今後の対応】

- ・関係機関を通じた事業主に対する周知活動により、支援件数の確保に努める。

(その他新型コロナウイルスの影響が大きく、目標を下回った事業等)

障害者職業能力開発支援事業委託訓練受講者数 4-6-1(1) プログラム P.116
職場体験実習事業の参加者数 4-6-1(1) プログラム P.116
チェック&アドバイス制度実施件数 4-6-2(2) プログラム P.121

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 3事業 〔完了済: 2事業〕

(主な事業等の実施状況)

鉄道駅舎(1日平均乗降客数3千人未満や課題のある駅)のバリアフリー化の方針検討 4-6-2(2) プログラム P.121
国際義肢装具協会(ISPO)世界大会2019の開催 4-6-2(3) プログラム P.122

4 - 7 交流・生活基盤対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
4-7 交流・生活基盤対策	2	4	2	1	9	66.7%	2	11	90.0%
4-7-1 高速道路網整備プログラム	0	2	0	0	2	100.0%	0	2	100.0%
4-7-2 空港・港湾整備プログラム	0	0	1	1	2	0.0%	1	3	100.0%
4-7-3 交通・生活基盤整備プログラム	2	2	1	0	5	80.0%	1	6	83.3%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
自主運行バスの立ち上げ支援数	4-7-3(1) 23地域	26地域
老朽化対策を完了した橋梁数	4-7-3(2) 162橋	262橋

(目標を下回った主な事業等)

老朽化対策を完了した港湾係留施設数 4-7-3(2) プログラム P.132
 [R2 目標：7 施設 R2 実績：5 施設 達成率：71.4% (累計)]

【理由】

- ・防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策を踏まえ、国予算配分が耐震対策に重点化されたため。
- ・単年度実績では、前年度(1箇所)から増加し、目標値を上回った(目標:2施設、実績:4箇所)ものの、累計の目標達成には至らなかった。

【今後の対応】

- ・老朽化対策にも必要な予算を配分するよう国に要望する。
- ・補正予算を含め積極的な予算確保に努める。

(その他新型コロナの影響が大きく、目標を下回った事業等)

但馬空港旅客数 4-7-2(1) プログラム P.130
 コンテナ貨物取扱量 4-7-2(2) プログラム P.130

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 19事業 (実施済: 3事業)

(主な事業等の実施状況)

大阪湾岸道路西伸部の整備促進(R2 用地買収、建設工事) 4-7-1(1) プログラム P.127
 北近畿豊岡自動車道(R2 豊岡道路(期)事業着手) 4-7-1(1) プログラム P.127
 名神湾岸連絡線の整備促進(R2 都市計画決定) 4-7-1(1) プログラム P.127
 播磨臨海地域道路の整備促進(R2 都市計画手続着手) 4-7-1(1) プログラム P.127
 姫路港旅客ターミナルエリアのリニューアル(R2 建設工事) 4-7-2(2) プログラム P.130
 明石港東外港地区の再開発着手(R2 公募条件の設定) 4-7-2(2) プログラム P.130

政策5：次代を担う人づくり

5 - 1 次世代人材育成対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
5 - 1 次世代人材育成対策	4	13	3	4	24	70.8%	4	28	84.0%
5-1-1 教育力強化・学習支援プログラム	2	9	1	1	13	84.6%	4	17	84.6%
5-1-2 高等教育特色化プログラム	1	0	1	3	5	20.0%	0	5	60.0%
5-1-3 教育環境整備プログラム	1	4	1	0	6	83.3%	0	6	100.0%

ニュースバル放射光施設を利用した研究課題件数(5-1-2(1))は、「3 - 5 産業力強化対策」でカウントしているため、ここではカウントしない。

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
高等学校の実施する課題研究等に市町村、大学、企業等の外部人材が参画した延べ人数	5-1-1(3) 120人	443人
幼稚園教育要領等に示された内容を踏まえた保育実践をした保育士及び教員の割合	5-1-1(4) 85%	89.0%
大学入学者志願者倍率(学部)	5-1-2(1) 5.9倍	7.0倍
ひょうごっ子SNS悩み相談(LINE等)の登録者数	5-1-3(1) 1,000人	3,125人

(目標を下回った主な事業等)

わくわく幼稚園開設園数 5-1-1(4) プログラム P.136
 [R2 目標：150 園 R2 実績：95 園 達成率：63.3% (累計)]

【理由】

- ・ 幼児教育・保育の無償化により、事業の対象となる幼稚園等に通園していない3~5歳児が減少していること、幼稚園教諭の人材確保が難しく、在宅幼児への教育提供や子育て支援体制整備の余裕がない園が多いこと、新型コロナの影響で開設を中止した園があり、前年度実績を下回った。

【今後の対応】

- ・ 経常費補助金の処遇改善加算や、幼稚園教諭の業務負担の軽減を図るためのICT化支援、再就職希望者など潜在幼稚園教諭の復職支援を行う人材登録センターの運営支援等、私立幼稚園等の人材確保等支援を通じて、各園に対して実施を働きかけていく。

(その他新型コロナの影響が大きく、目標を下回った事業等)

わくわく保育所開設園数 5-1-1(4) プログラム P.136
 県立大学の共同研究・受託研究件数 5-1-2(1) プログラム P.138
 HUMAPによる留学(派遣)支援者数 5-1-2(2) プログラム P.139
 HUMAPによる海外インターンシップ支援者数 5-1-2(2) プログラム P.139
 海外留学を行う高校生数 5-1-2(2) プログラム P.139
 地域学校協働活動の総実施日数 5-1-3(1) プログラム P.140

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 5 事業〔完了済: 3 事業〕

(主な事業等の実施状況)

県立大学の経済・経営学部を再編し、社会情報科学部と国際商経学部を開設

5-1-2(1) プログラム P.138

県立大学に減災復興政策研究科博士課程後期課程を開設

5-1-2(1) プログラム P.138

県立大学に情報科学教育棟及び国際学生寮の整備(R2 年 4 月供用開始)

5-1-2(1) プログラム P.138

県立大学姫路工学キャンパスの建替整備(R2 新 2 号館建設工事)

5-1-2(1) プログラム P.138

阪神地域の特別支援学校の狭隘化対策(R4 年 9 月 阪神特別支援学校の増築・供用開始)

5-1-3(3) プログラム P.141

5 - 2 文化・スポーツ対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
5 - 2 文化・スポーツ対策	2	1	0	4	7	42.9%	5	12	72.7%
5-2-1 芸術文化振興プログラム	1	1	0	4	6	33.3%	1	7	66.7%
5-2-2 スポーツ振興プログラム	1	0	0	0	1	100.0%	3	4	75.0%
5-2-3 障害者スポーツ振興プログラム	0	0	0	0	0	-	1	1	100.0%

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
学校・地域での伝統文化体験教室開催回数	5-2-1(2) 90回	96回
東京リリック・パ・リニック、ラグビーワールドカップ事前合宿の招致件数	5-2-2(1) 5件	10件

(目標を下回った主な事業等(新型コロナの影響))

舞台芸術(音楽、演劇)のアウトリーチ活動の実施回数	5-2-1(1)	プログラム P.142
伝統文化体験フェスティバル・伝統文化体験教室参加者数	5-2-1(2)	プログラム P.142
文化会館年間来館者数	5-2-1(3)	プログラム P.143
ひょうごの文化発信リーディング事業発信地区数	5-2-1(4)	プログラム P.143

(2) 施設整備や計画策定等の目標: 2事業〔完了済: 1事業〕

(主な事業等の実施状況)

神戸新開地・喜楽館(常設の寄席)の開設	5-2-1(1)	プログラム P.142
ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)の施設整備(R2埋蔵文化財発掘調査)	5-2-3	プログラム P.145

政策6：地域自立の推進

6-1 愛着の持てるふるさとづくり対策

【プログラムの達成状況】

(1) 数値目標を設定した事業等

プログラム名					計 (A)	の割合	その他 (B)	対策計 (A+B)	(昨年度) の割合
6-1 愛着の持てるふるさとづくり対策	5	5	3	2	15	66.7%	2	17	94.1%
6-1-1 地域活動支援プログラム	1	2	1	1	5	60.0%	0	5	100.0%
6-1-2 ふるさと意識向上プログラム	4	2	1	1	8	75.0%	2	10	90.0%
6-1-3 情報発信力強化プログラム	0	1	1	0	2	50.0%	0	2	100.0%
6-1-4 公共施設有効活用プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-

広報媒体のフォロワー数等(6-1-3)は、複数の指標(2、1)が含まれているため、1つでカウントしている。

(目標を超えて達成した事業等)

施策・事業、指標	(目標)	(実績)
NPO法人等向けボランティア基金助成事業件数	6-1-1(2) 50件	58件
ふるさとひょうご寄附金応援メニュー件数	6-1-2(1) 19件	22件
ふるさとひょうご寄附金 寄附金額	6-1-2(1) 1億円	1億1,408万円
青少年向けふるさと体験事業実施件数	6-1-2(2) 100件	105件
シニア世代から子育て世帯へのふるさと伝承事業実施団体数	6-1-2(3) 10団体	12団体

(目標を下回った主な事業等)

ふるさとひょうご寄附金寄附件数 6-1-2(1) プログラム P.148
 [R2 目標：1,600件 R2 実績：1,330件 達成率：83.1%]

【理由】

- ・新型コロナウイルスによる神戸マラソンの開催延期に伴い、神戸マラソン開催応援プロジェクトの募集を停止したことが大きく影響したため、寄附件数は目標を下回ったが、寄附金額は目標額(1億円)を上回った。

【今後の対応】

- ・寄附実績の低調な事業について、収入確保計画を策定し、進行管理を行うとともに、今年度、返礼率のアップ(1割 2割)や返礼品の内容充実、更なるPRの強化を図り、寄附獲得に向けた取組を推進する。

(その他新型コロナウイルスの影響が大きく、目標を下回った事業等)

地域づくり活動応援事業助成件数 6-1-1(2) プログラム P.146
 県民ボランティア活動助成件数 6-1-1(2) プログラム P.146
 高校等在籍期間中に地域と共同した活動に参加した生徒割合 6-1-2(2) プログラム P.148
 広報官等による職員研修の受講人数 6-1-3 プログラム P.150

(2) 施設整備や計画策定等の目標：7事業〔完了済：4事業〕

(主な事業等の実施状況)

参画と協働の推進方策の策定 6-1-1(1) プログラム P.146
 高齢者大学における新たなカリキュラム等の提供 6-1-1(4) プログラム P.147
 兵庫の祭り・行事調査報告書の発行 6-1-2(3) プログラム P.149
 新長田駅南地区における県・神戸市合同庁舎の整備 6-1-4 プログラム P.150

【プログラムの達成状況】

(1) 施設整備や計画策定等の目標: 10事業 [完了済: 2事業]

(主な事業等の実施状況)

地方の税財政基盤の充実強化を国に提案	6-2-1	プログラム P.151
国と地方の事務配分の基本原則を定める「中央集権制限法」の制定を国に提案	6-2-1	プログラム P.151
県から市への権限移譲(34件)	6-2-1	プログラム P.151
県・市町の条例等により地域活性化の支障となっている規制改革の推進	6-2-1	プログラム P.151
政府関係機関の移転の促進	6-2-2(1)	プログラム P.152
防災庁創設に向けた啓発活動、国への提案	6-2-2(2)	プログラム P.152
2025年国際博覧会の大阪・関西誘致	6-2-2(3)	プログラム P.152

前回(令和2年8月)実績公表時からの主な変更点

1 予算や計画改定等を踏まえた目標数値や工程の更新等

頁	施策・事業、指標名	概 要
3 - 2 - 1 結婚・出産支援プログラム		
P.6	(1) 出会い・結婚の応援 出会いイベント開催回数	新型コロナの影響を踏まえた目標の変更
	(5) 先天性疾患の予防 風しん抗体検査受検者数	予算を踏まえた目標の設定
3 - 2 - 2 待機児童解消プログラム		
P.9	(1) 保育所・認定こども園の整備促進 保育所等定員の増加数	「ひょうご子ども・子育て未来プラン」に基づき目標を設定
	(2) 病児・病後児保育の拡大 病児・病後児保育施設数	「ひょうご子ども・子育て未来プラン」に基づき目標を設定
P.10	(3) 放課後児童クラブの拡大 放課後児童クラブ(支援単位)数	予算を踏まえた目標を設定
3 - 2 - 3 子どもの見守りプログラム		
P.11	(2) 地域による子育て支援の充実 地域祖父母モデル事業実施地区数	予算を踏まえて目標を変更
3 - 2 - 4 育児の不安解消プログラム		
P.12	(1) 子育てにかかる経済的負担の軽減 私立高等学校等授業料軽減補助の拡充	予算を踏まえて目標を変更
	高校生に対する給付型奨学金の創設	「国の授業料無償化の動向を踏まえ、改めて目標検討」としていたが、検討結果を記載
3 - 3 - 1 介護体制整備プログラム		
P.14	(1) 介護施設の整備促進 特別養護老人ホーム等の床数	「第8期介護保険事業支援計画」策定に伴う目標の設定・変更
	特別養護老人ホーム等入所待機者数 特定施設入居者生活介護の指定を受けたサービス付高齢者向け住宅戸数	
P.15	(2) 在宅介護・見守りの体制強化 定期巡回・随時対応サービス提供事業所及び看護小規模多機能事業所数	「第8期介護保険事業支援計画」策定に伴う目標の変更
3 - 3 - 2 認知症支援プログラム		
P.16	認知症相談医療機関登録数	「第8期介護保険事業支援計画」策定に伴う目標の設定
	認知症対応医療機関登録数	
	認知症疾患医療センター-箇所数	
	4DAS 研修基礎研修修了者数	

頁	施策・事業、指標名	概要
3 - 3 - 3 健康づくり応援プログラム		
P.18	(1) 健康寿命が延びる社会づくり	
	ひょうご健康づくり支援システム市町向け研修実施状況	「今後普及目標を検討」としていたため、事業の進捗を踏まえて目標を設定
3 - 4 - 2 県内就職支援プログラム		
P.26	県内大学卒業生の県内就職率	「成果を踏まえて目標検討」としていたため、現状を踏まえて目標を設定
3 - 5 - 2 起業・創業応援プログラム		
P.30	起業支援件数	予算を踏まえて目標を変更
	IT 起業の進出支援件数	
3 - 5 - 3 次世代産業集積プログラム		
P.32	(1) 次世代産業の拠点形成	
	企業間連携による成長促進事業参加企業数	令和2年度限りでの事業廃止に伴う目標の削除
3 - 5 - 4 新事業創出支援プログラム		
P.35	(1) 中小企業への支援強化	
	ひょうごオンリーワン企業創出支援事業による支援件数	令和2年度限りでの事業廃止に伴う目標の削除
P.36	(2) 新事業分野の開拓促進	
	新ファンドの創設及び新ファンドによる投資件数	ファンド創設完了による目標の修正
3 - 6 - 1 農業の基幹産業化プログラム		
P.38	(1) 農業の競争力強化	
	不耕作農地活用モデル事業実施地域数	予算を踏まえて目標を設定
P.39	施設野菜生産量	「ひょうご農林水産ビジョン 2030」策定に伴う目標の変更
	(2) 畜産物の生産力強化	
P.39	但馬牛繁殖雌牛頭数	「ひょうご農林水産ビジョン 2030」策定に伴う目標の変更
	生乳生産量	
3 - 7 - 1 県産品ブランド力向上プログラム		
P.44	(1) 兵庫ブランドの確立	
	ひょうご農商工連携ファンドによる新規支援件数	「成果を踏まえて目標検討」としていたところ、新ファンド創設により目標を設定
P.45	(2) 農産物のブランド力強化	
P.45	国際的な日本酒コンペティションの兵庫開催	開催延期に伴う目標の変更
3 - 8 - 1 職業能力開発プログラム		
P.49	(2) 安心して仕事に取り組める環境づくり	
	中小企業従業員共済制度の非正規従業員加入支援者数	「需要に応じた見直し検討」としていたため、現状を踏まえて目標を設定
3 - 8 - 2 介護・看護人材確保プログラム		
P.50	(1) 看護人材の確保	
	介護人材数	「第8期介護保険事業支援計画」策定に伴う目標の変更

頁	施策・事業、指標名	概要
3 - 9 - 1 女性・シニア活躍応援プログラム		
(1) 女性の就業促進		
P.54	県における女性管理職の比率	「男女共同参画兵庫県率先行動計画」の改定を踏まえて目標を設定
	中小企業における一般事業主行動計画の策定率	「女性活躍推進法」改正に伴う目標の変更
3 - 9 - 2 ワーク・ライフ・バランスプログラム		
(2) 田舎暮らしの普及促進		
P.57	地域楽農生活センターの開設数	予算を踏まえた目標の変更
3 - 1 0 - 1 中心市街地・商店街再生プログラム		
(2) 美しい街並みの形成		
P.59	市街地における新たな緑化面積	「新たな計画による目標検討」としていたため、「県民まちなみ緑化事業・第4期」の目標新設に伴う目標の設定
3 - 1 1 - 3 多自然地域再生プログラム		
P.65	大学との連携による地域創生活動支援事業実施団体数	予算を踏まえた目標の変更(事業の組み替え)
3 - 1 1 - 4 新しい魅力づくりプログラム		
(2) 県立公園等の利用拡大		
P.67	瀬戸内海国立公園六甲地域の観光入込客数	「神戸創生戦略(第4版)」策定に伴う目標の設定
3 - 1 1 - 5 国際交流拡大プログラム		
(2) 海外での学習機会の提供、外国人留学生への支援		
P.72	青年洋上大学海外養成塾参加者数	事業延期に伴う目標の変更
3 - 1 1 - 6 ワールドマスタースゲームズ 2021 関西プログラム		
P.74	ワールドマスタースゲームズ 2021 関西の開催 ブレ大会実施競技団体数	開催延期に伴う目標の変更
4 - 1 - 1 防災・減災基盤整備プログラム		
(2) 日本海津波防災インフラ整備計画		
P.77	防潮堤等の整備延長	「日本海津波アクションプログラム」にあわせた目標の変更
4 - 2 - 1 山崩れ・土石流防止プログラム		
(1) 治水ダム、砂防堰堤等の整備		
P.81	治山ダム整備(又は着手)箇所数 砂防堰堤等の着手箇所数	「第4次山地防災・土砂災害5箇年計画」の策定にあわせた目標の変更
4 - 2 - 2 森林管理プログラム		
(1) 災害に強い森づくりの推進		
P.83	緊急防災林整備面積 都市山防災林整備面積	「災害に強い森づくり」第3期対策を踏まえた目標の設定・変更

頁	施策・事業、指標名	概要
4 - 2 - 3 治水対策プログラム		
P.85	(1) 河川対策アクションプログラム	
	河川改修等の推進	「河川対策アクションプログラム」の策定を踏まえた目標の設定・変更
	既存ダムの治水活用	
堆積土砂撤去の推進		
4 - 3 - 1 避難体制整備プログラム		
P.89	(1) マイ避難カード作成による住民避難行動の支援	
	項目名の変更	
	(2) 災害時要援護者の支援	
	福祉避難所数	予算を踏まえた目標の設定
4 - 3 - 2 防災人材育成プログラム		
P.92	(2) 地域住民の防災力向上	
	ひょうご防災リーダー養成数	新型コロナの影響を踏まえた目標の変更
	防災士取得者数	
	広域防災センター利用者数	
4 - 4 - 2 県立病院充実プログラム		
P.98	はりま姫路総合医療センター (仮称)の開院	開院時期の決定による目標の修正
	西宮病院と西宮市立中央病院 の統合病院の開院	新型コロナの影響による目標の変更
	がんセンターの建替整備による 新病院の開院	基本計画策定を踏まえた目標の変更
4 - 4 - 3 障害者安心確保プログラム		
P.99	(2) 重症心身障害児通所支援・居宅訪問型事業所の整備促進	
	重症心身障害児通所支援・居 宅訪問型事業所の整備箇所	国方針を踏まえ、複数市町（圏域）での共同設置も見据えた方針としたため、目標を変更
4 - 4 - 4 身近な異変への対応力向上プログラム		
P.103	(5) 近隣で支え合う関係の再構築	
	地域相互見守りモデル事 業実施地区数	予算を踏まえた目標の設定
4 - 4 - 5 交通安全プログラム		
P.105	(3) 自転車の安全適正利用の促進	
	自転車関係事故件数	「自転車活用推進計画」の策定に伴う目標の設定
4 - 5 - 1 温室効果ガス削減プログラム		
P.106	(1) 温室効果ガス排出量の削減	
	温室効果ガス排出量	「地球温暖化対策推進計画」の改定に伴う目標の変更
	産業部門における温室効 果ガス排出量	
4 - 5 - 2 エネルギー活用プログラム		
P.108	(1) 再生可能エネルギーの導入拡大	
	再生可能エネルギーによ る発電量	「地球温暖化対策推進計画」の改定に伴う目標の変更

頁	施策・事業、指標名	概要
4 - 5 - 2 エネルギー活用プログラム		
P.108	(3) 「水素社会」実現に向けた取組の促進	
	水素ステーション立地数	「更なる増設を検討し、目標設定」としていたため、予算を踏まえ目標を設定
4 - 5 - 4 動物共生プログラム		
P.113	(2) 特定外来生物・有害鳥獣等の捕獲対策	
	アライグマ・ヌートリア捕獲頭数	予算を踏まえた目標の変更
4 - 5 - 6 環境体験推進プログラム		
P.115	派遣プログラム実施園数	事業規模の見直しに伴う目標の変更
4 - 6 - 1 障害者自立支援プログラム		
P.119	(5) 小野起生園の整備検討	
	小野起生園の建替地の検討・決定	検討会による検討結果を踏まえた目標の変更
4 - 6 - 2 バリアフリー環境整備プログラム		
P.121	(2) バリアフリー化の促進	
	チェック&アドバイス実施件数	「福祉のまちづくり基本方針」の改定に伴う目標の変更
	鉄道駅舎のバリアフリー化率(乗降客数3千人以上/日)	全駅舎のバリアフリー化に向け目標を設定
	乗合バスに対するノンステップバス導入率	「福祉のまちづくり基本方針」の改定に伴う目標の変更
4 - 7 - 1 高速道路網整備プログラム		
P.128	(1) 高速道路のミッシングリンク解消	
	北近畿豊岡自動車道	各計画の進捗にあわせた工程に変更
	山陰近畿自動車道	
	播但連絡有料道(南伸部)	
播磨臨海地域道路		
P.129	(2) スマートICの増設	
	スマートIC 供用箇所数	構造計画見直しに伴う関係機関等との調整状況に応じた工程の変更
P.129	(3) ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画の策定と基幹道路八連携軸の整備推進	
	基幹道路八連携軸の整備推進	豪雨災害により、のり面が崩落したため、のり面对策等の進捗にあわせた工程の変更
4 - 7 - 2 空港・港湾整備プログラム		
P.130	(1) 空港の機能強化・利用促進	
	但馬空港旅客数	新型コロナの影響を踏まえた目標の変更
4 - 7 - 3 交通・生活基盤整備プログラム		
P.131	(1) 公共交通基盤の整備	
	自主運行バスの立ち上げ支援数	「ひょうご公共交通 10 箇年計画」の改定に伴う目標の変更

頁	施策・事業、指標名	概要
5 - 1 - 1 教育力強化・学習支援プログラム		
P.135	(3) 県立高校の特色化の推進	
	ひょうごスーパーハイスクール指定校数	現状を踏まえた目標の設定
5 - 1 - 3 教育環境整備プログラム		
P.140	(1) いじめ等重大事案への対応力の強化	
	地域学校協働活動の総実施日数	事業の変更に伴う目標の変更
	スクールソーシャルワーカーを配置する中学校区数	中学校の統廃合に伴う目標の変更
P.141	(2) 校舎の長寿命化・トイレの洋式化	
	県立学校長寿命化改修の実施工数(着工ベース)	「県立学校施設管理実施計画」の改定に伴う目標の変更
5 - 2 - 2 スポーツ振興プログラム		
P.144	(1) オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップの事前合宿の誘致	
	東京オリンピック・パラリンピック等事前合宿の招致件数	開催延期に伴う目標の設定
6 - 1 - 1 地域活動支援プログラム		
P.147	(3) ひょうご地域創生交付金の創設	
	ひょうご地域創生交付金事業の実施	予算を踏まえた目標の設定

2 施設整備の完了などに伴い、整備目標を数値目標に変更

頁	施策・事業、指標名	概要
3 - 7 - 1 県産品ブランド力向上プログラム		
P.44	(1) 兵庫ブランドの確立	
	ひょうご農商工連携ファンダによる新規支援件数	新ファンド組成に伴う目標の設定

[別添] 活力あるふるさと兵庫実現プログラム(令和2年度実績)

(問い合わせ先) 企画県民部 政策調整課 調整班 TEL 078-362-9006